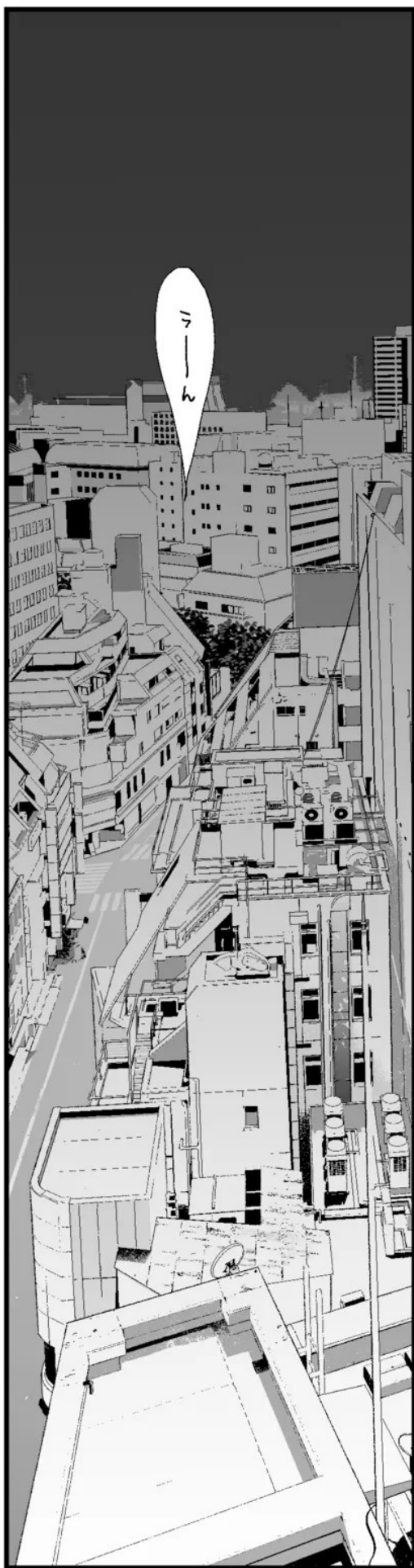




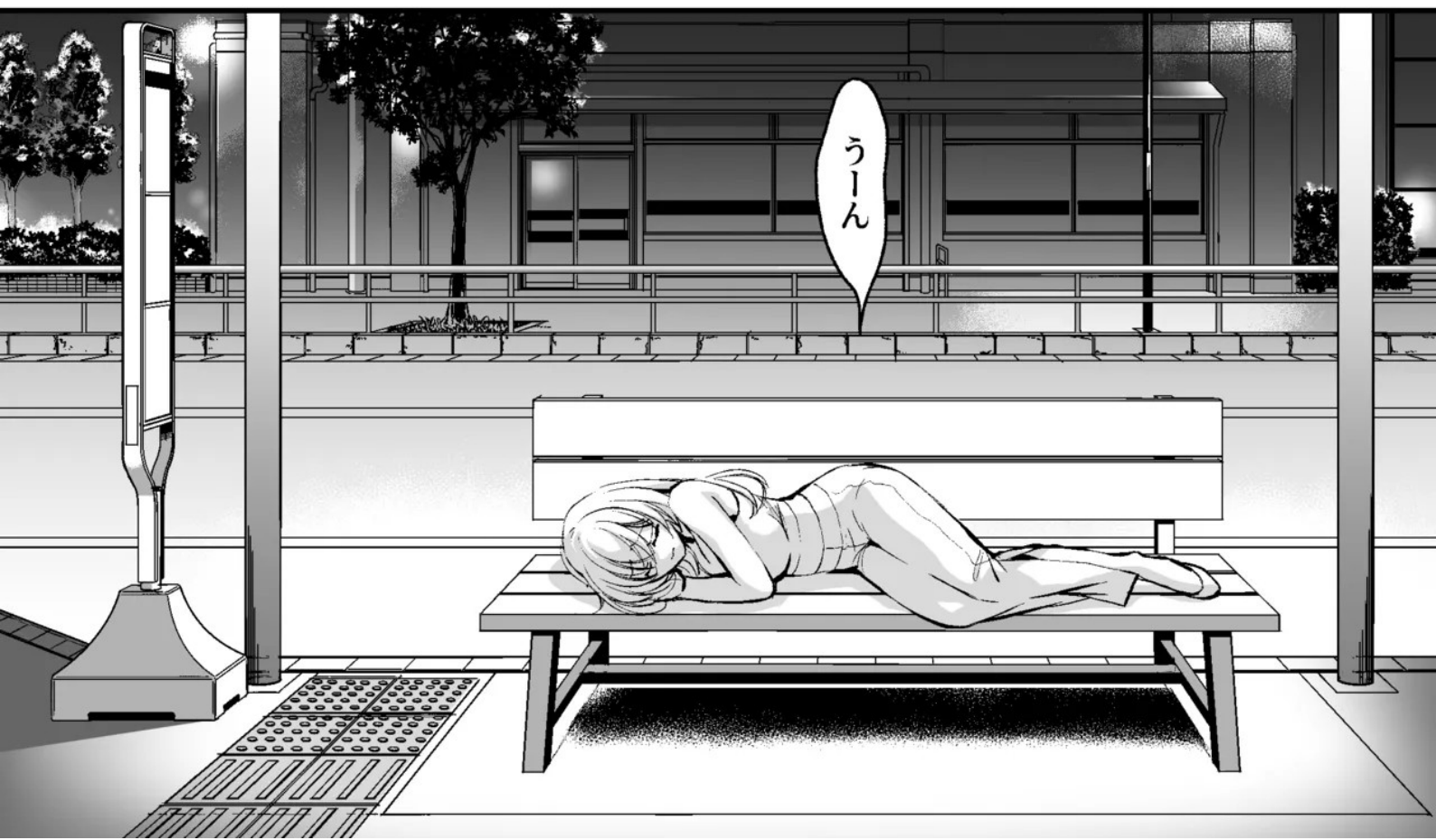
出会って5分で
セックスする

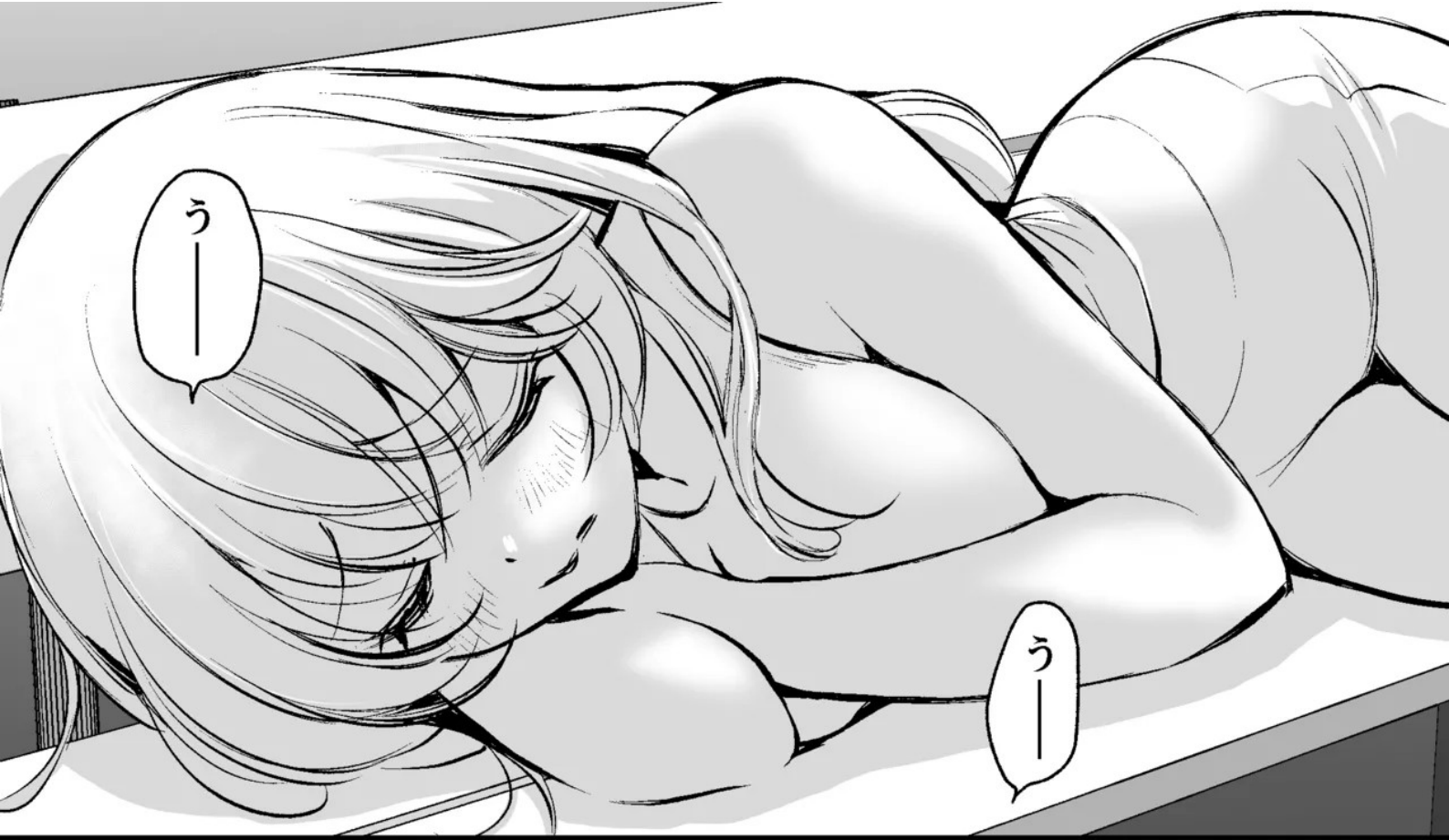
キラキラ
魔女と
僕の記録
I

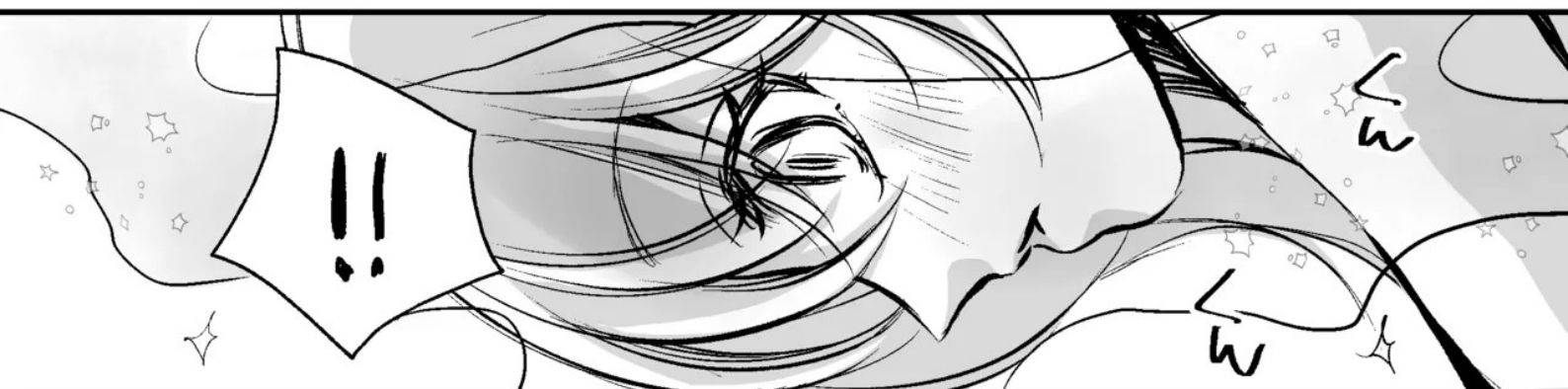
ADULT ONLY
R-18

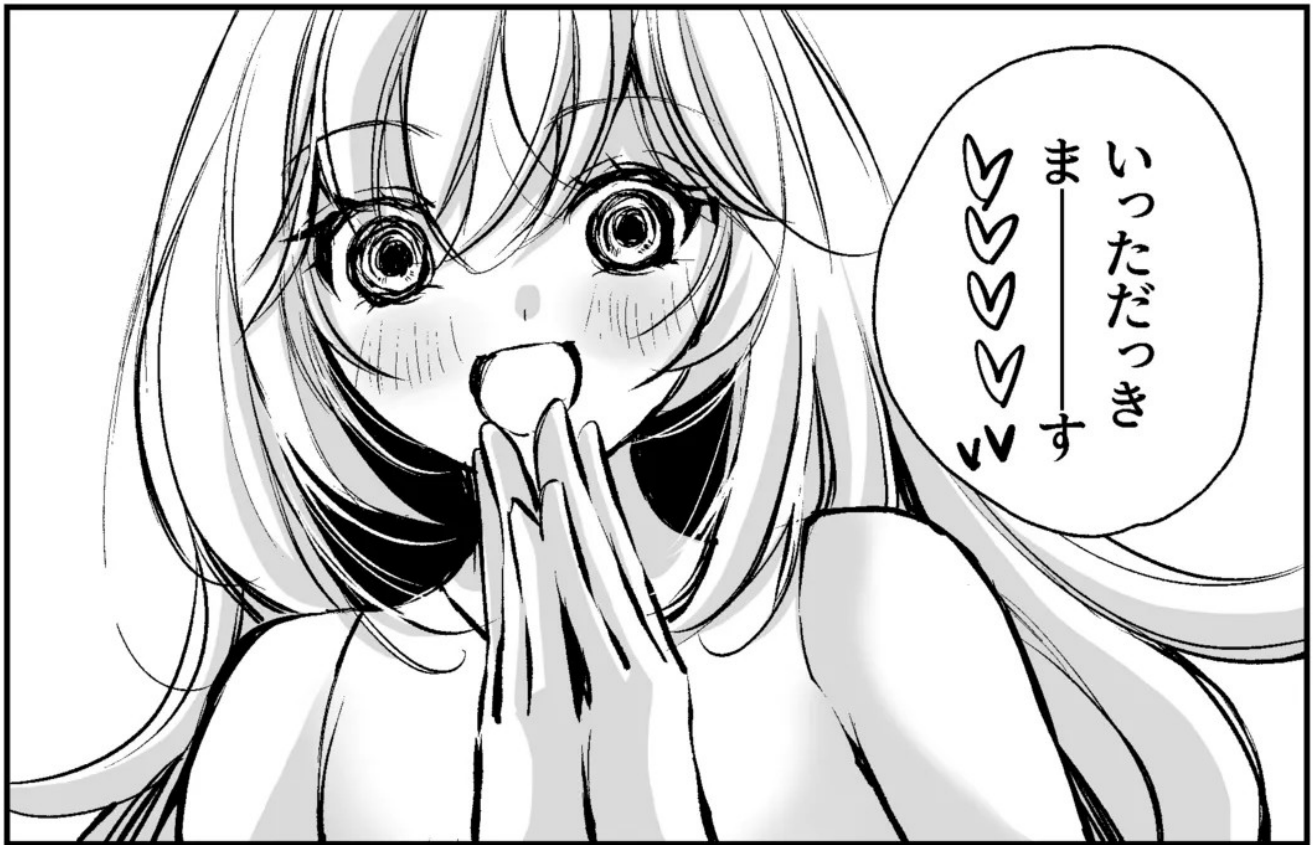


出会って5分でセックスするキラキラ魔女と僕の記録 1









え？

ッ

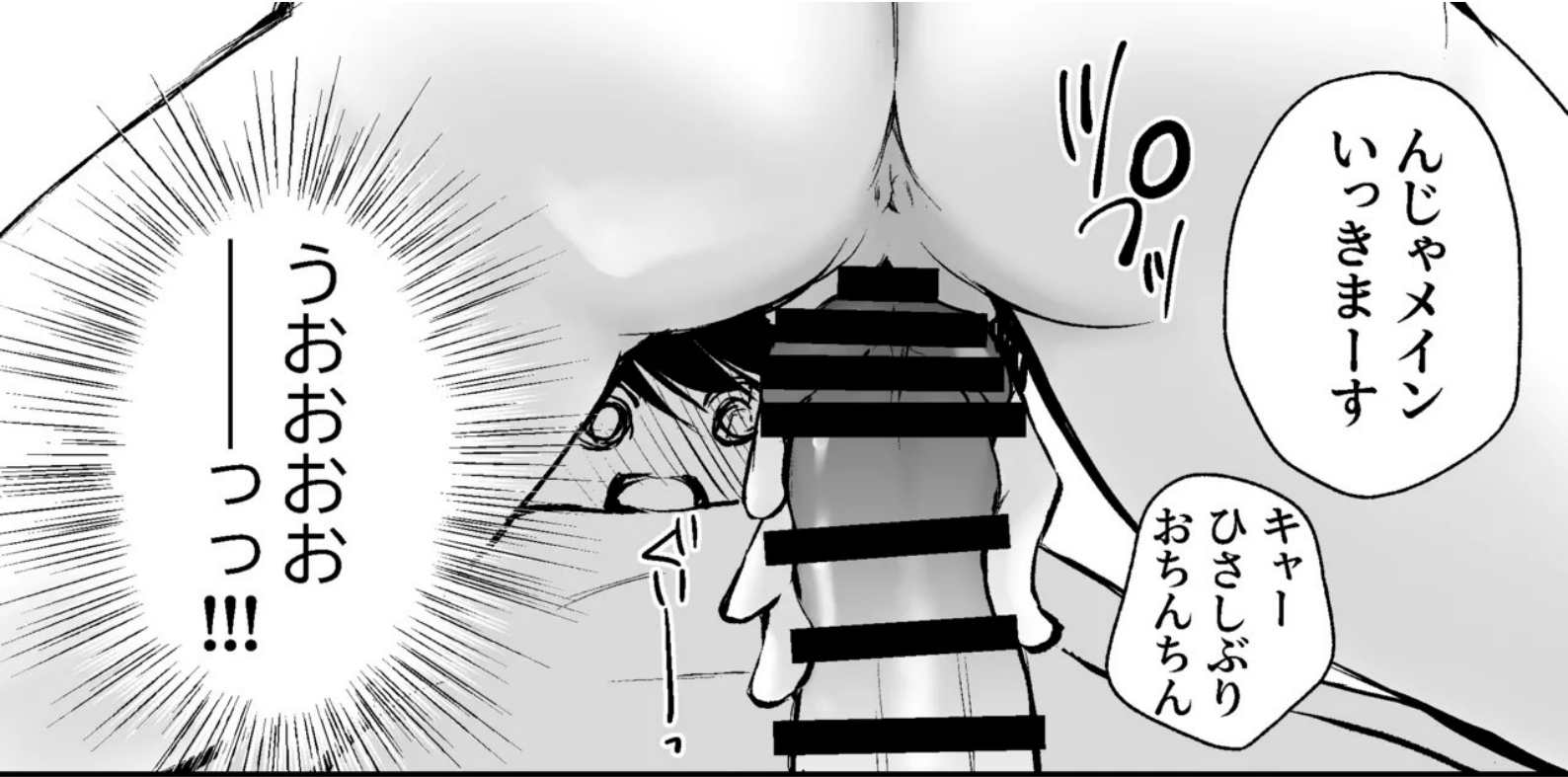
ん？

ん

ちゅ







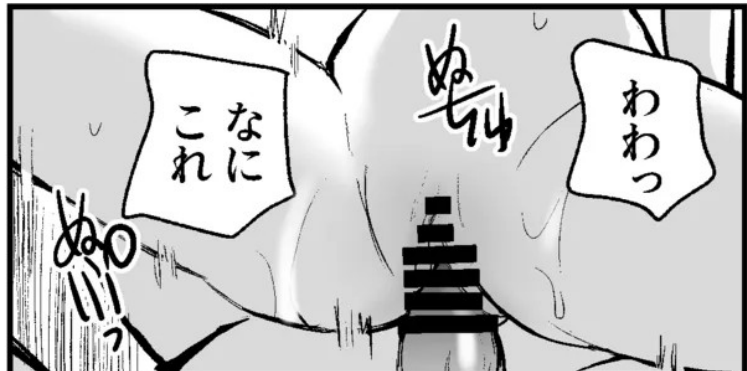
んじやメイン
いっきまーす

うおおおお
——
つつ
!!!

キャー
ひさしぶり
おちんちん



サイコーな
夢だな
こりゃあ



わわっ

なに
これ

ぬい
ぬい



んっ
んっ



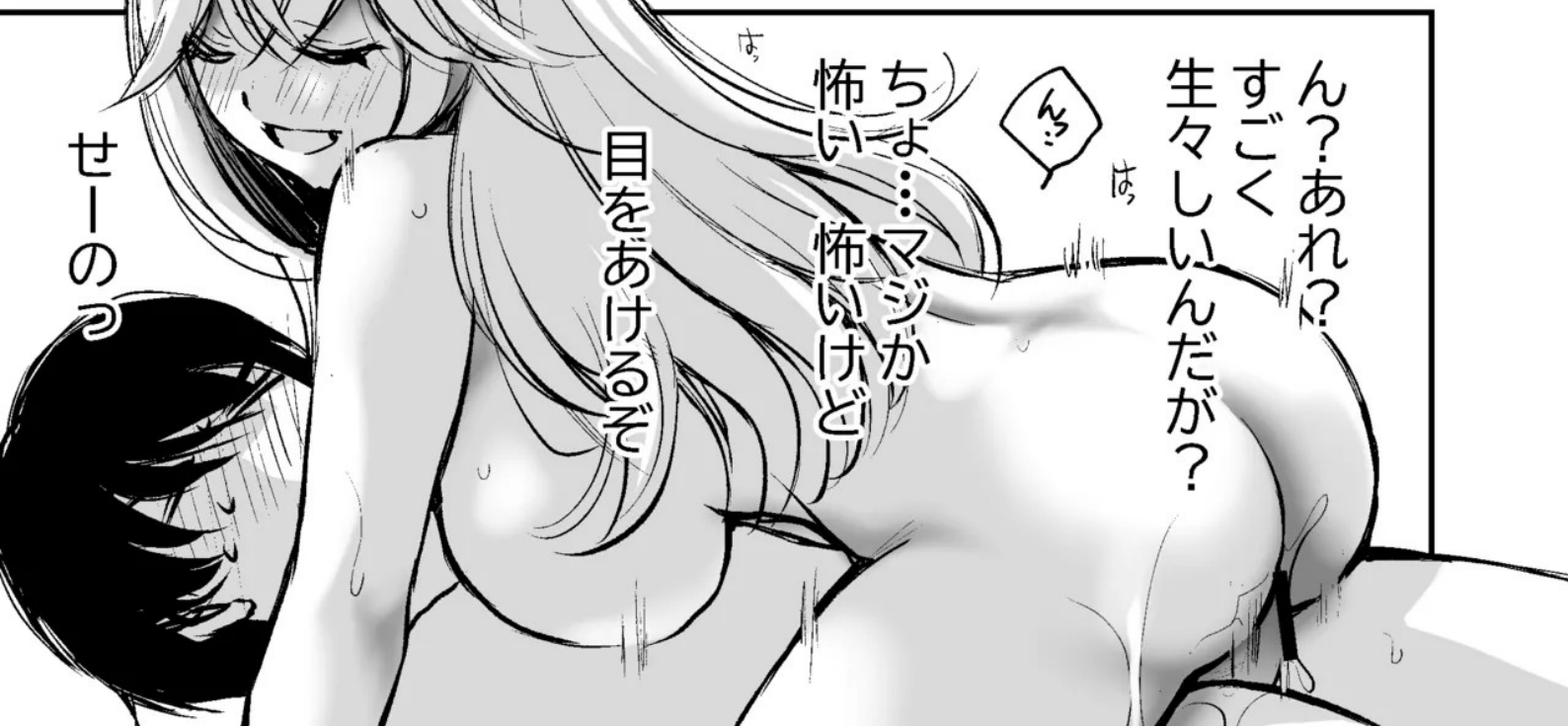
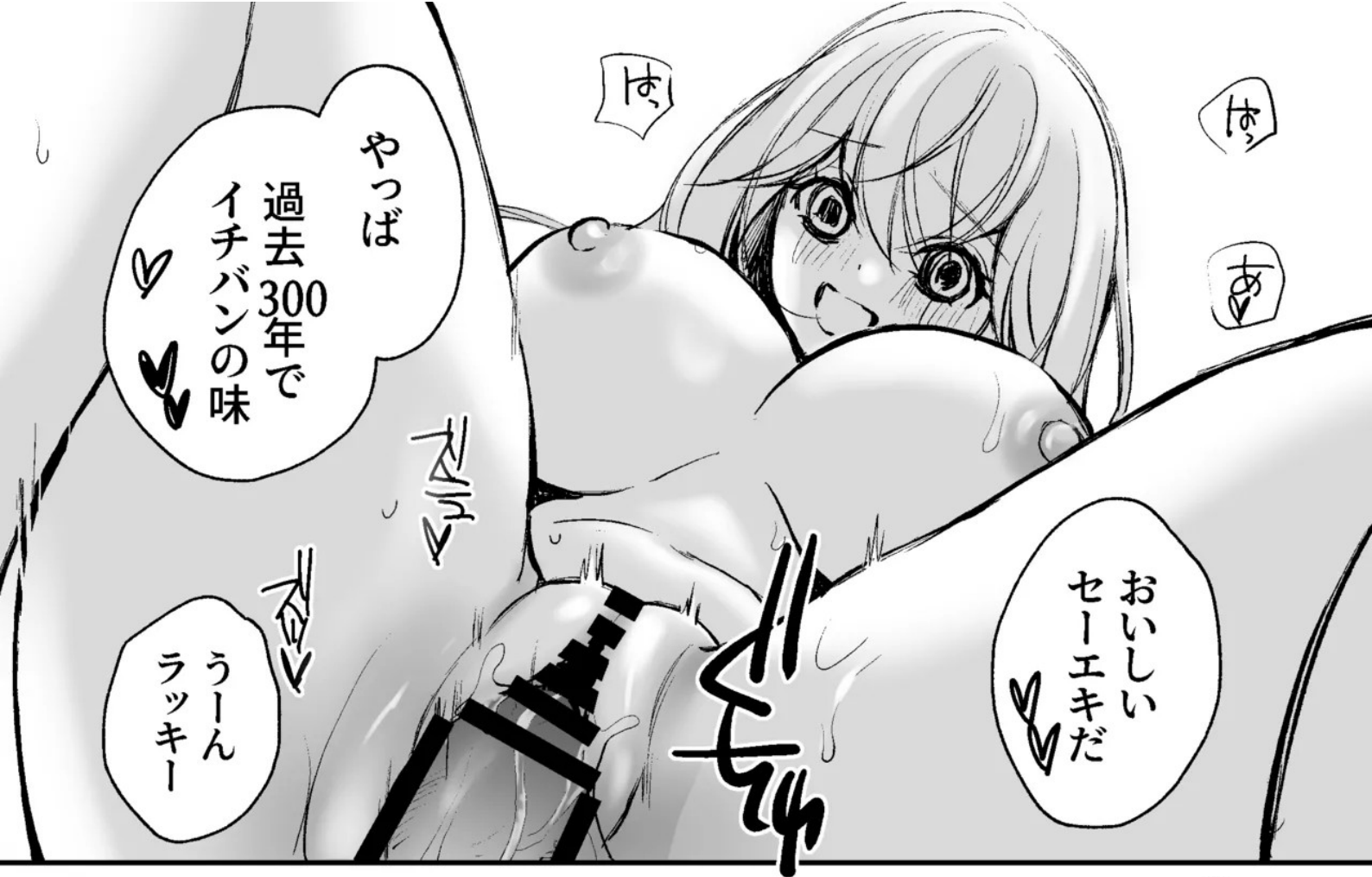
こんなん
初めて♡

気持ちいい

は

は

は









魔法使いの
魔法だよ

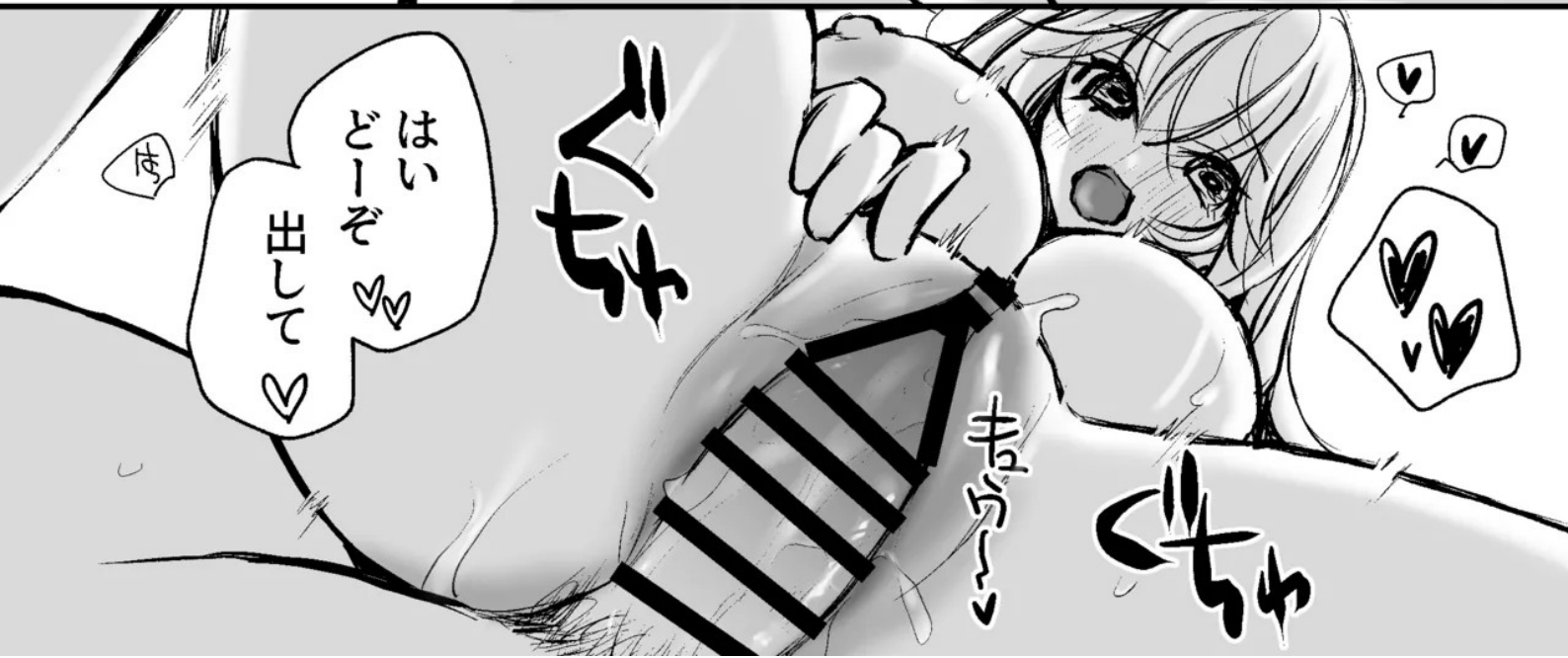
いいから
離して

しょうが
ないなあ



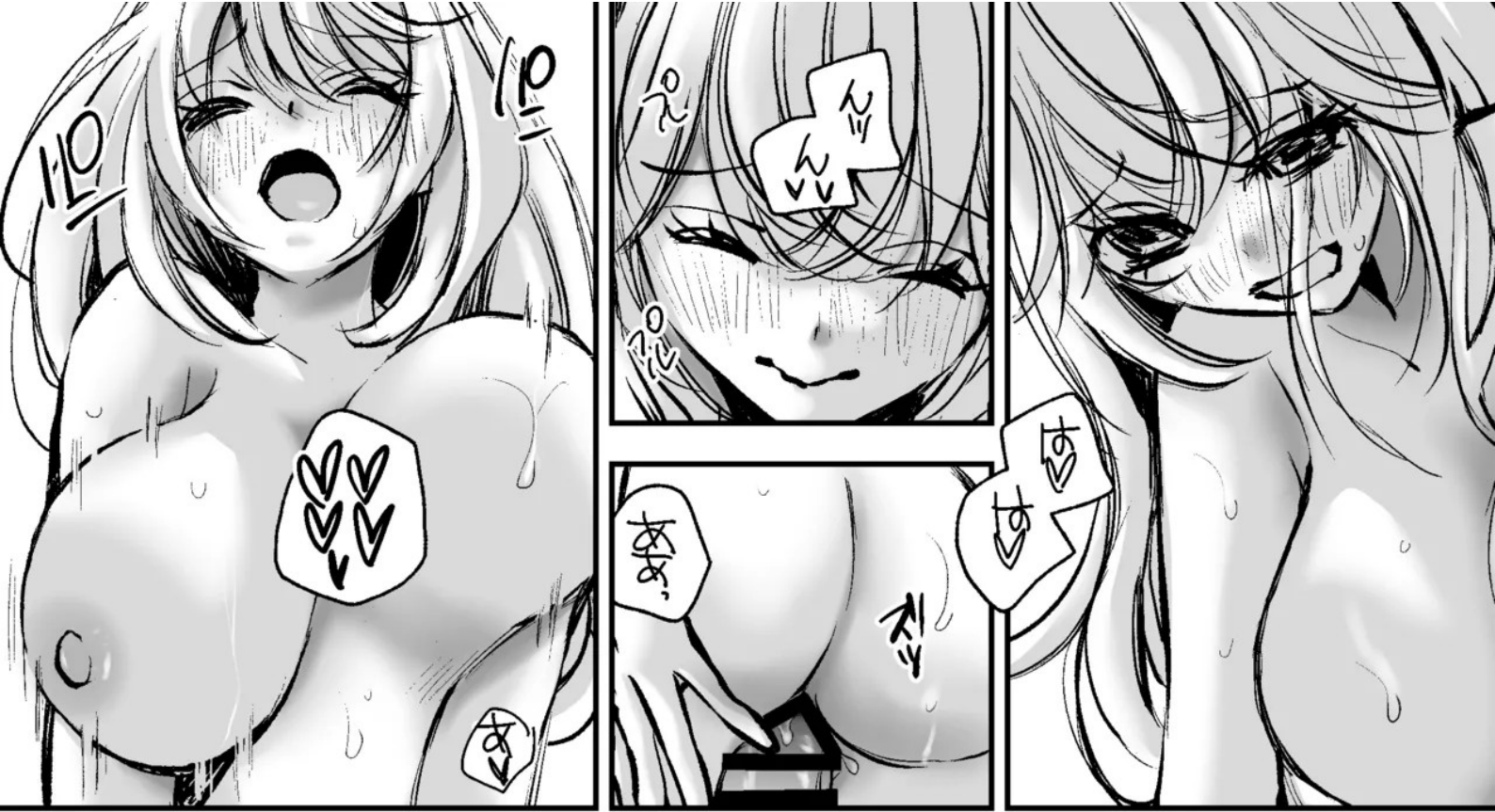
でも
その前に

セーエキ
ちようだい



はい
どーぞ♡♡

出して♡













好きな人と
してこそだろ



なんだよ

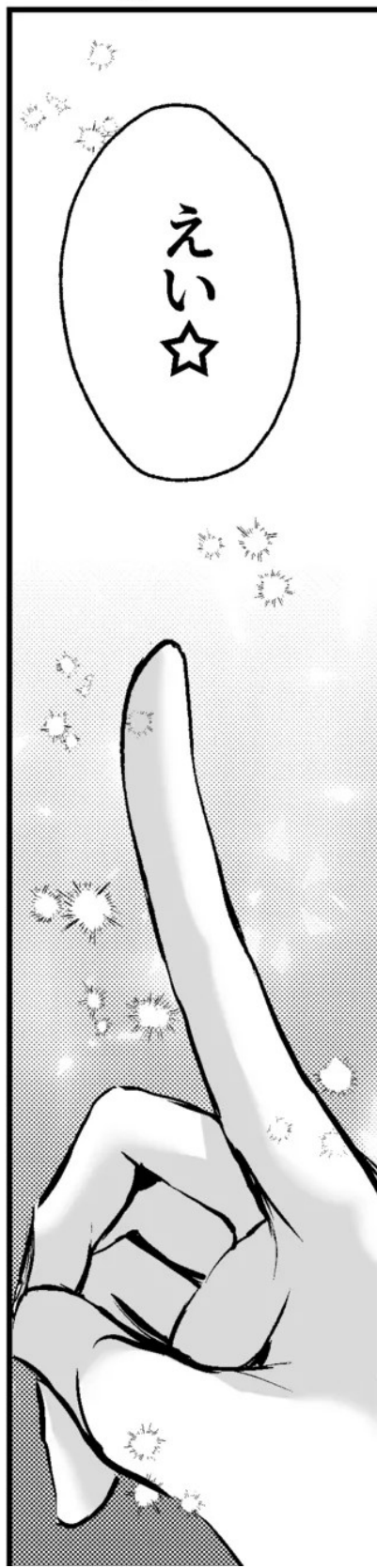


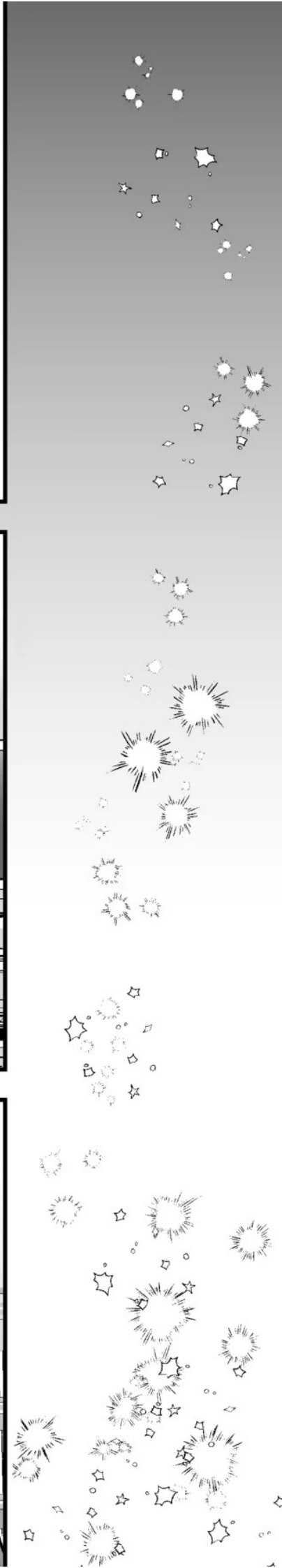
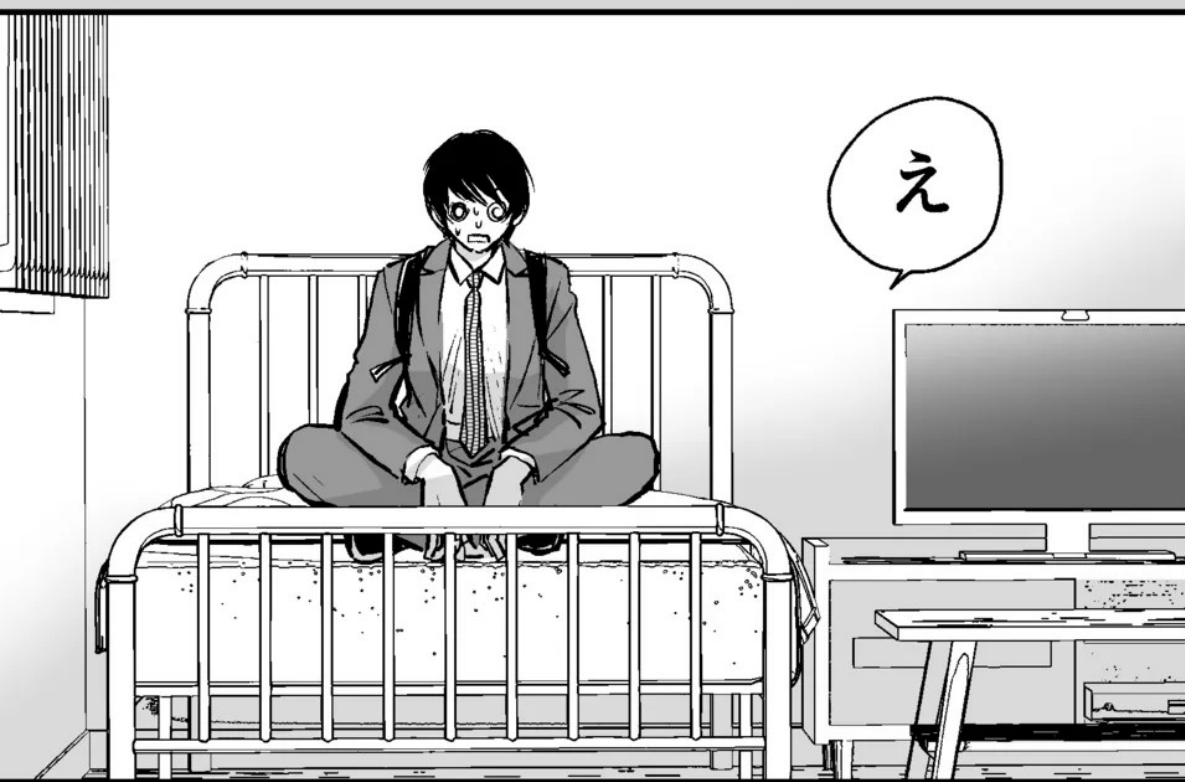
拉致って
やっても
セックスだって
言うのか？

セックスって









なんだ
これっ!!

夢だ

都合のいい
夢だったんだ

あ—
きつつ

先輩を
思い出してしまったけど

そうだ
そうだ
変な夢
だったけど

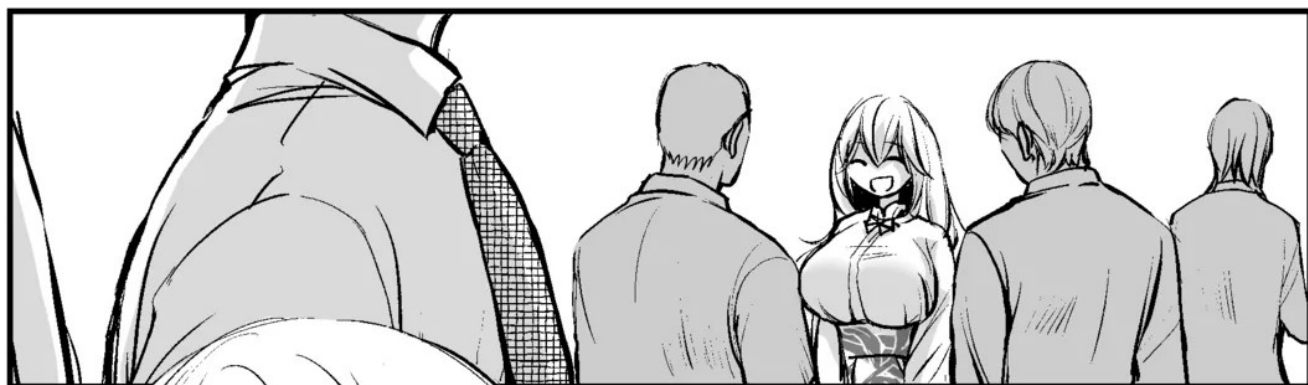
夢なんだ

おい—す
玖々瑠くん

今日はなに
食べるんだ?

ハンバーグ
です
三ツ星の

それいいな
オレも
そうしょ





ロ
アッ

やばっ

気が狂った



いる???

なぜ
会社に



来るな
来るな

さ...さあ?
なんで
でしょうね



たまかー



お...おい
こっちに向かって
来てないか



昨日の方
ですよね

あの

ありがとう
ございます
おかげで
たすかり
ました





あああ...

夢じゃ
なかつたか...



昨日の
キラキラ



どう？
どう？

偶然の出会いに
みえたよね
劇的だったよね



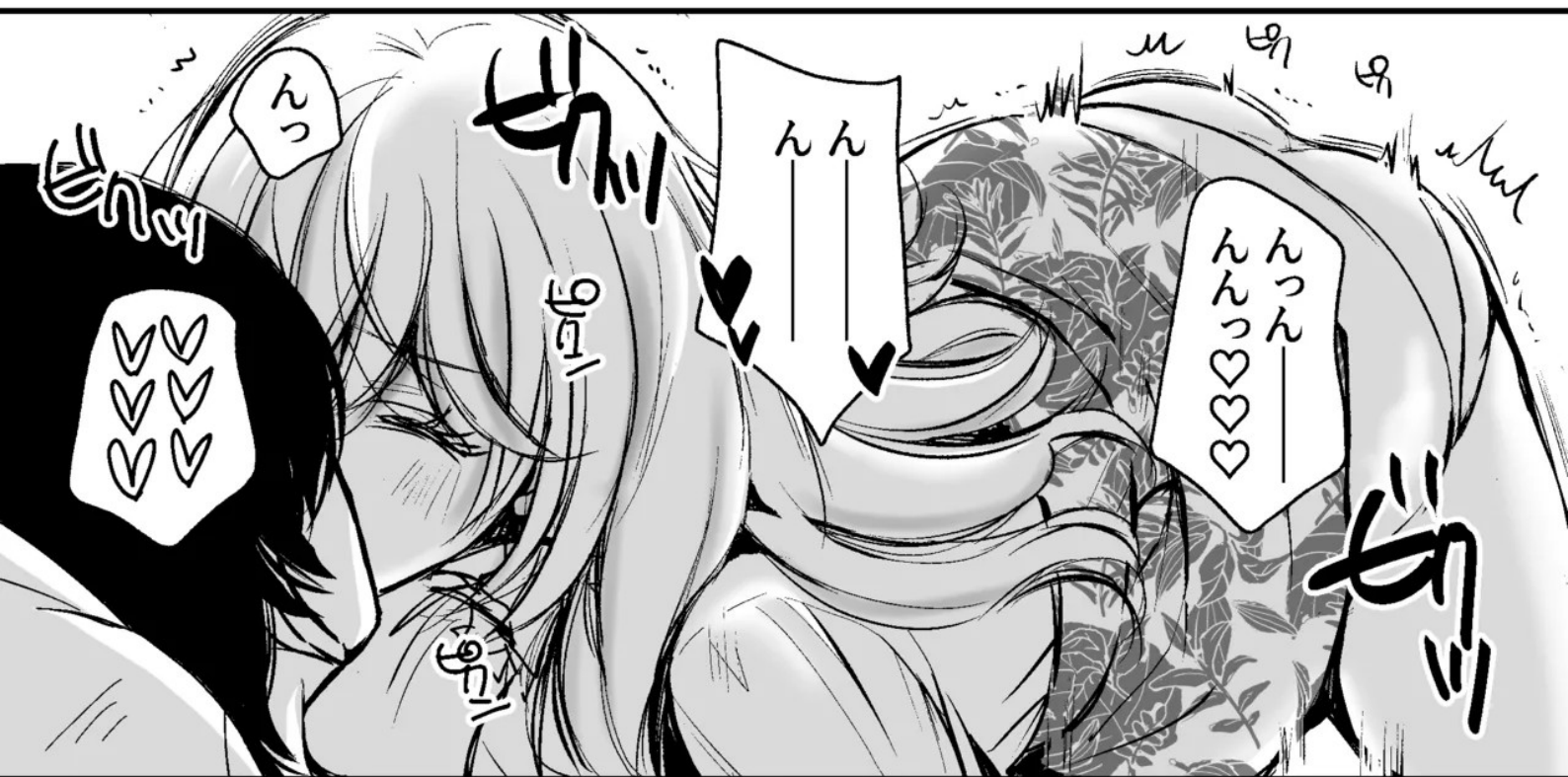
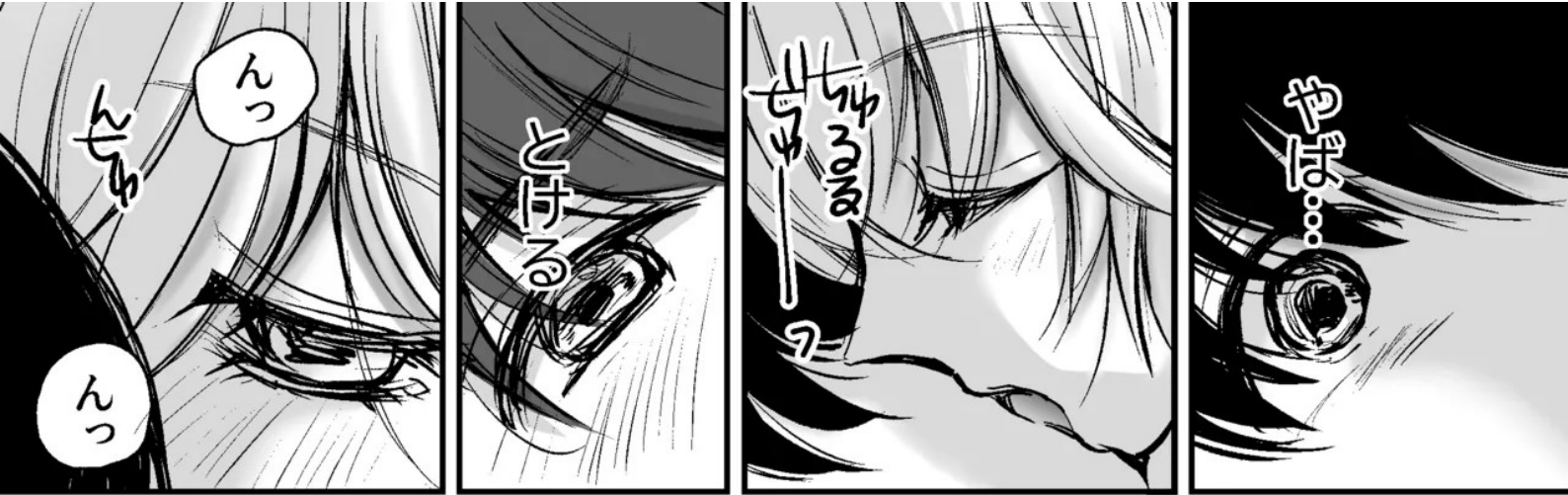
は？

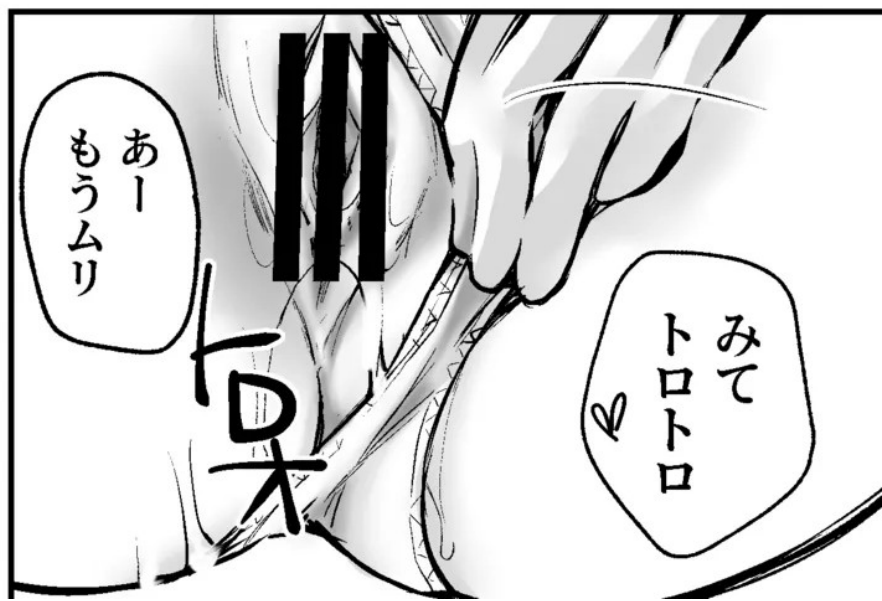
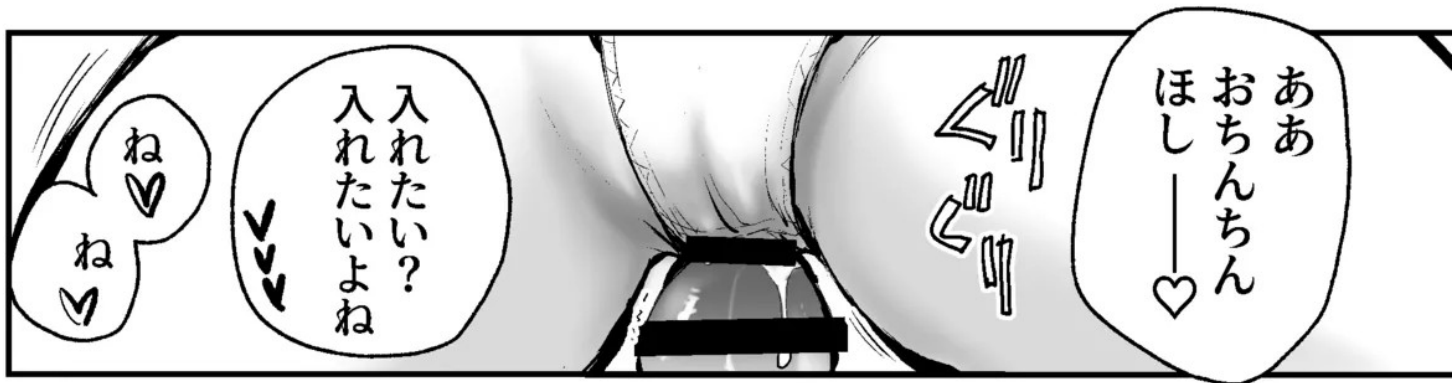
ここどこ？

社食に

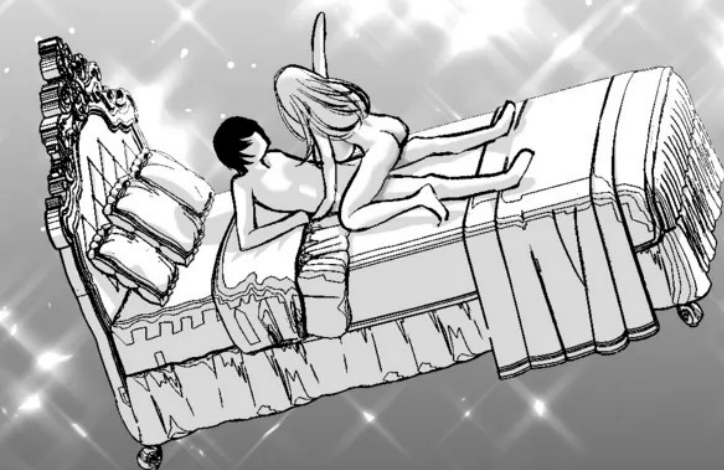
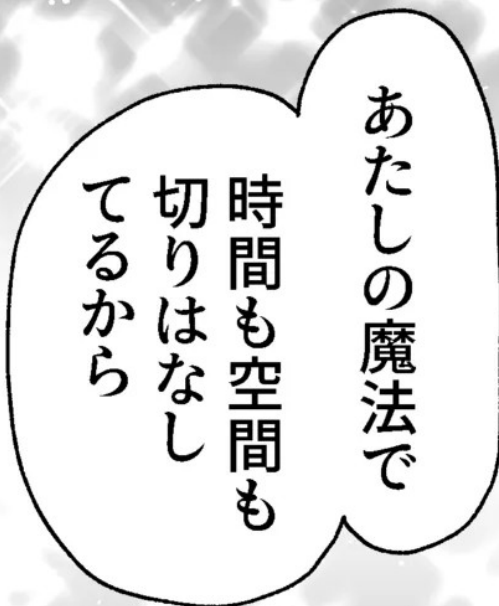
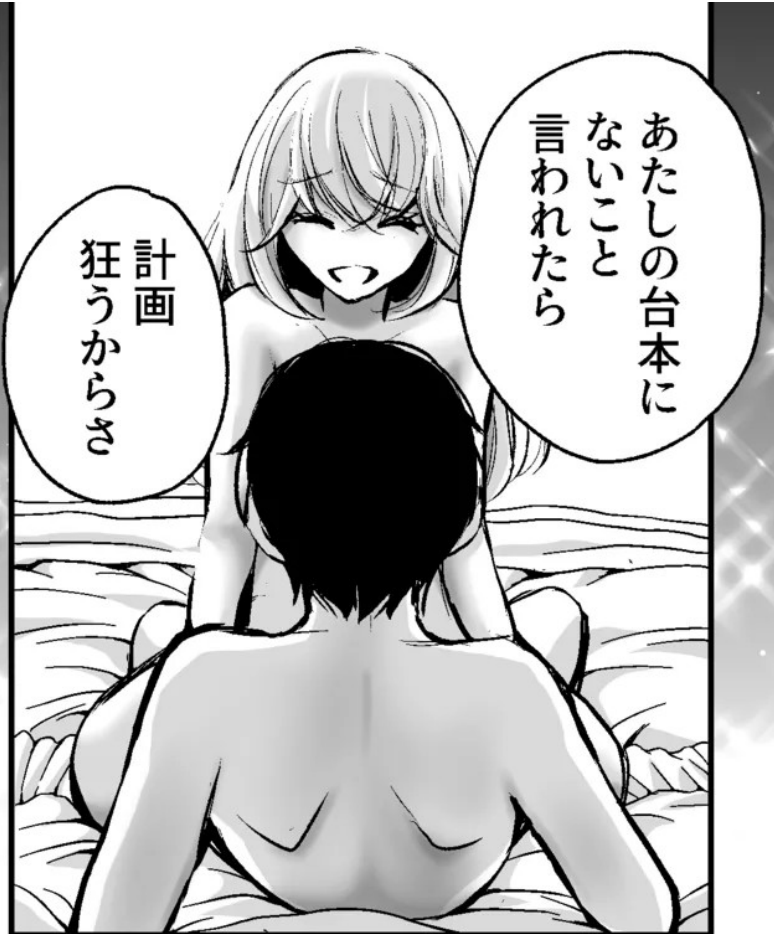
いたんじや

ええっ...？









時間？空間？
何言ってんだ
魔法って…？

でね
この魔法を
唱えるのに

必要なのが
セーエキ
なんだ

体液でも
オツケーね

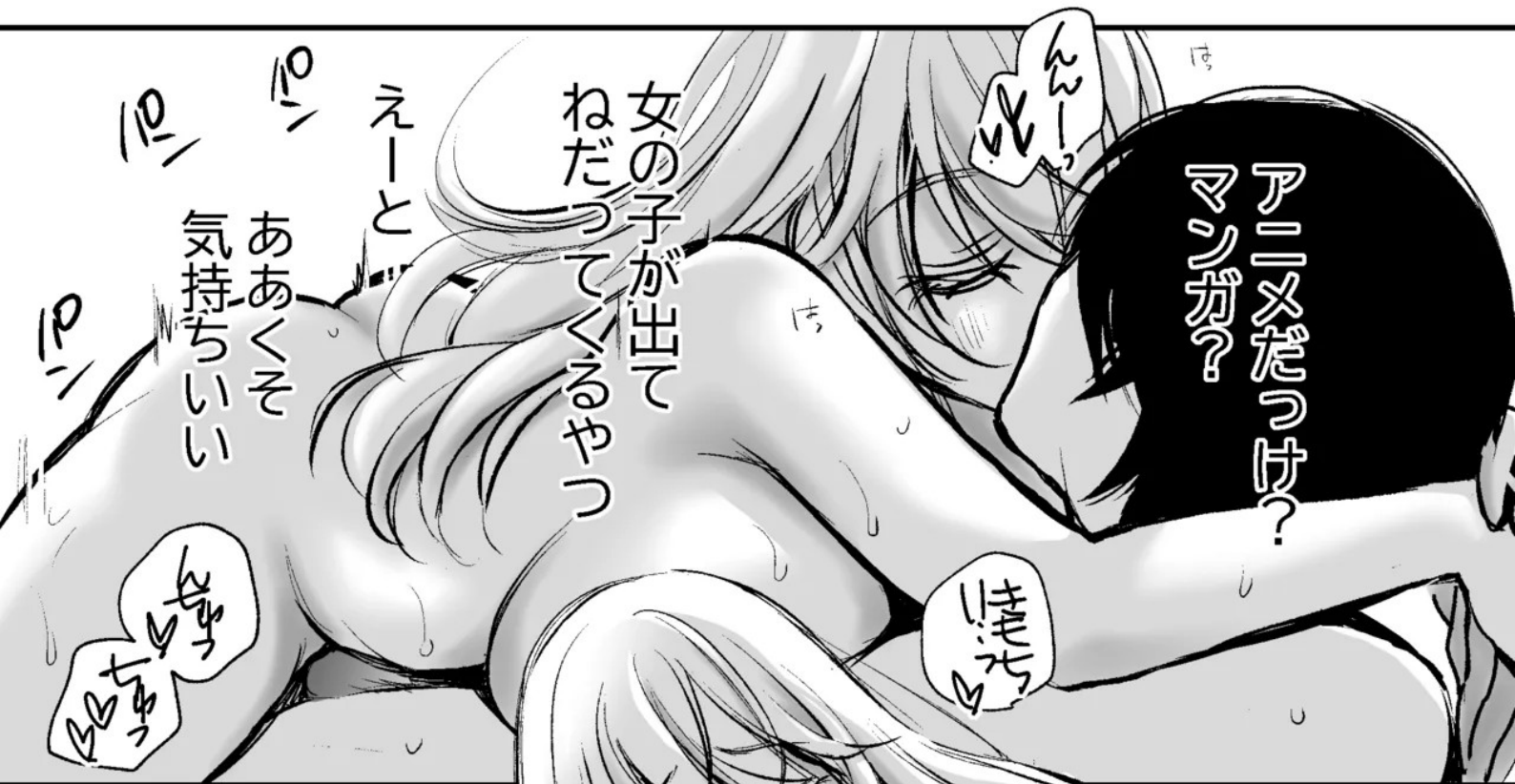
だから
いっぱい
ちょうだい

な…んで
魔法に精液
必要なん…だよ

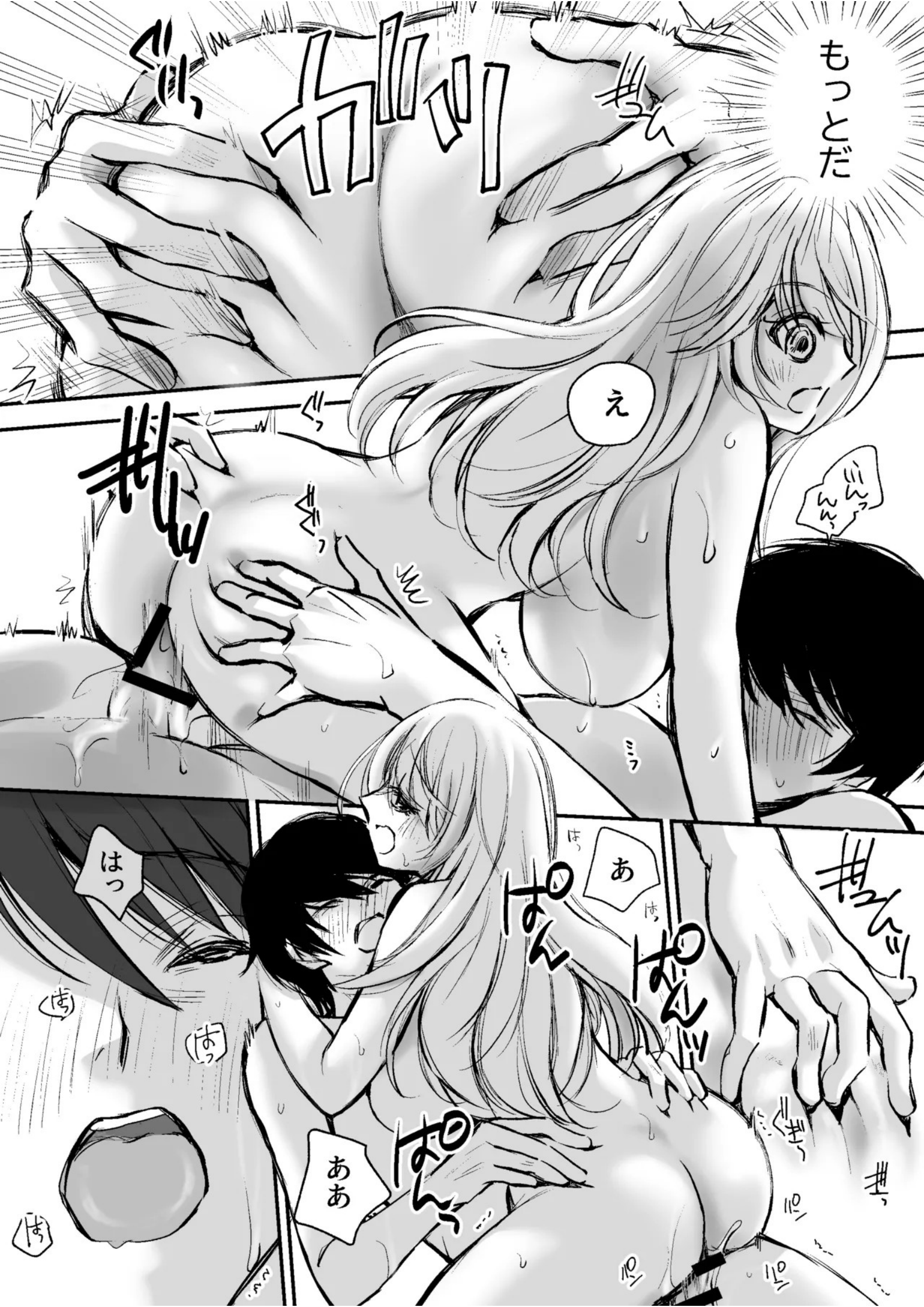
わかんない
くくる君
知ってる？

んん…んっ
(知るか)

いっ
いっ
いっ







もつとだ

カッ

え

いん
ん
ん

はっ

あ

いん
ん
ん

ああ

いん
ん
ん

いん
ん
ん

いん
ん
ん

いん
ん
ん

いん
ん
ん

いん
ん
ん

いん
ん
ん

いん
ん
ん



あゝ

あゝ
あゝゝ

あゝ

あゝ

わゝ
わゝゝ

あゝ
ひゃああ

あゝゝ

ひゃっ

やば...ば

あゝ
奥...あたっ
おちんちん
ゴング
...んんっ

はゝゝ

あゝ
あゝゝ

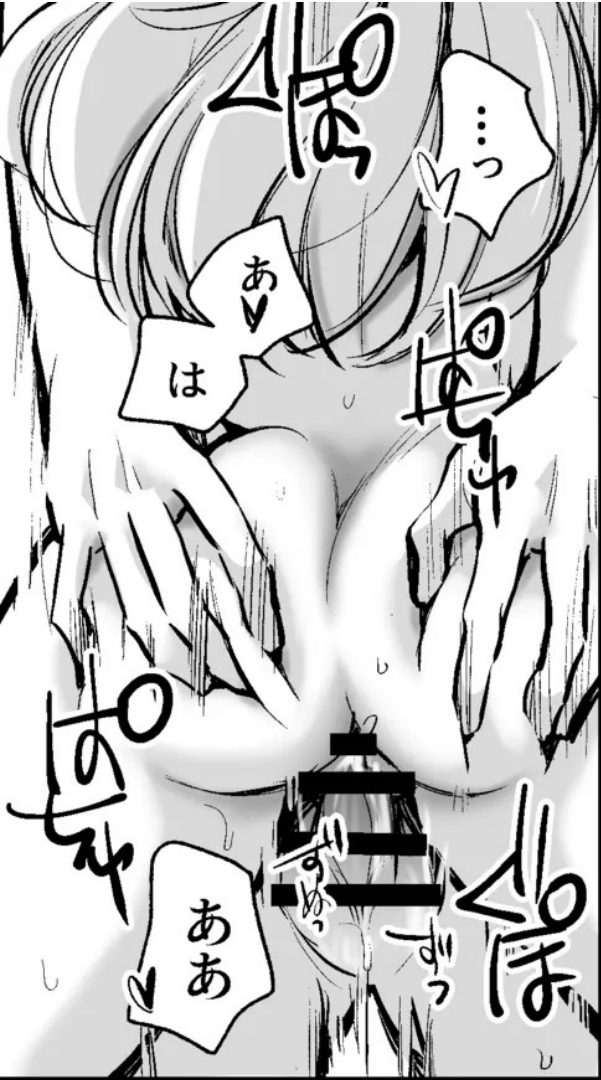
あゝ
あゝゝ

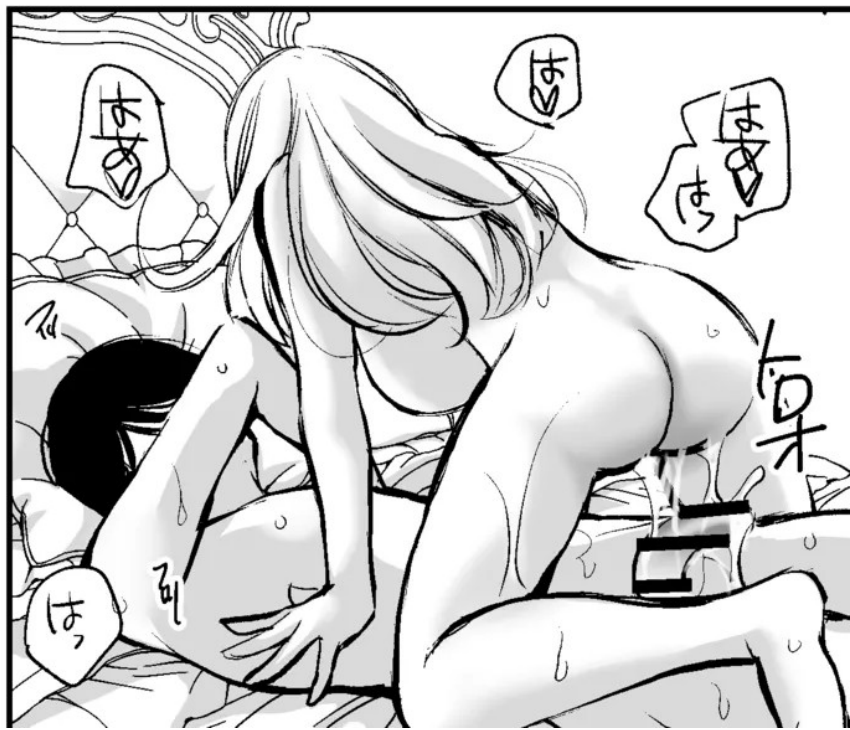
あゝ
あゝゝ

あゝ

あゝ

あゝ
あゝゝ







「セックスは
好きな人と
したい」とか

いいこと
言っというて

結局は
気持ちいいに
流されて…

いつもこうだ
僕は…

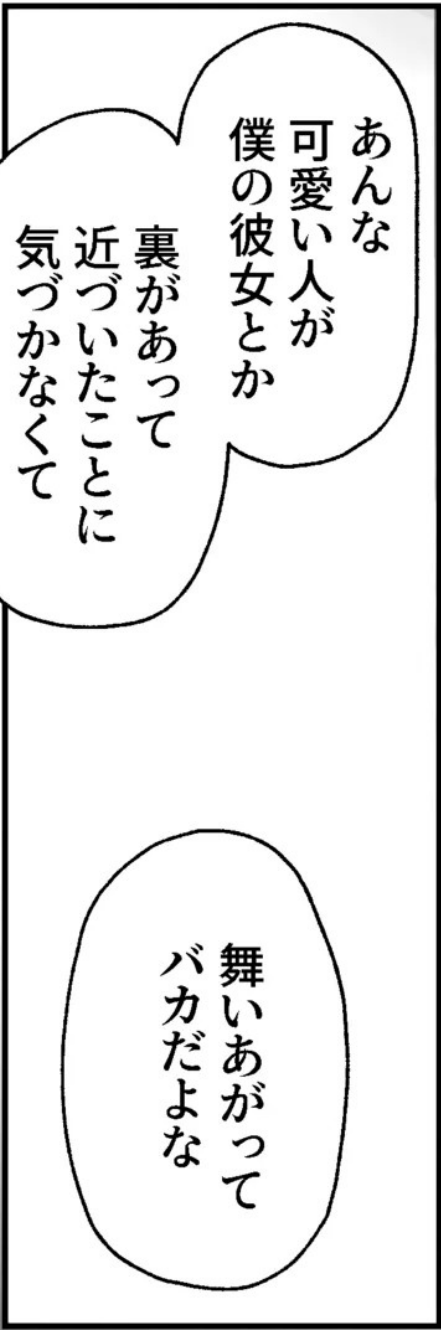


いやー
気持ちいいには
抗えないよ

気にすんなって



彼女だと
思ってた人に
だまされたんだ



あんな
可愛い人が
僕の彼女とか

裏があって
近づいたことに
気づかなくて

舞いあがって
バカだよな



昔



行く時間になったよ

それより
こっち

年上の先輩との
セックスは
気持ちよかった

また授業
さぼ……て

……あ

何もかも忘れて
やりまくった

あ

あ

今度の休み
ドライブに
行かない？

景色がいい
古民家旅館が
あるんだって

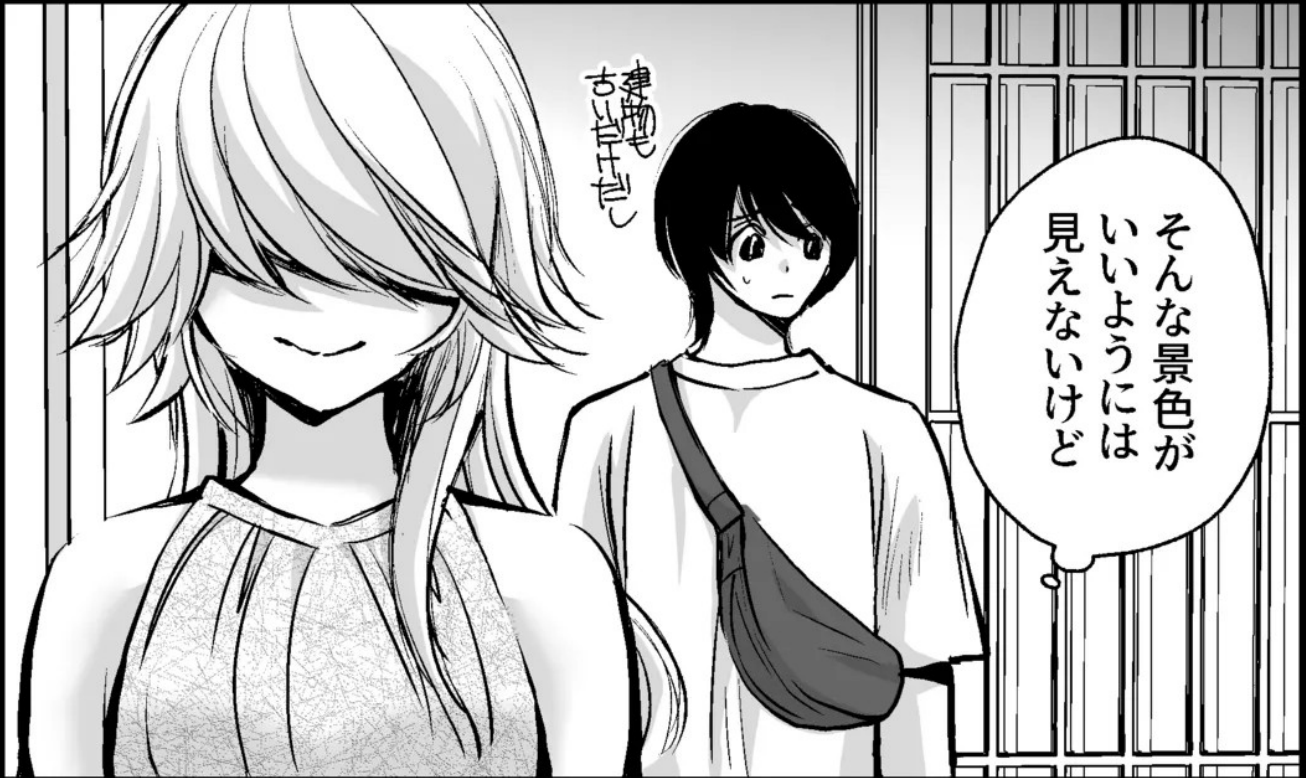
そこで
一日中
しましょ

一日中？
いいの？

ええ
気持ちよく
なりましょう



こころよ



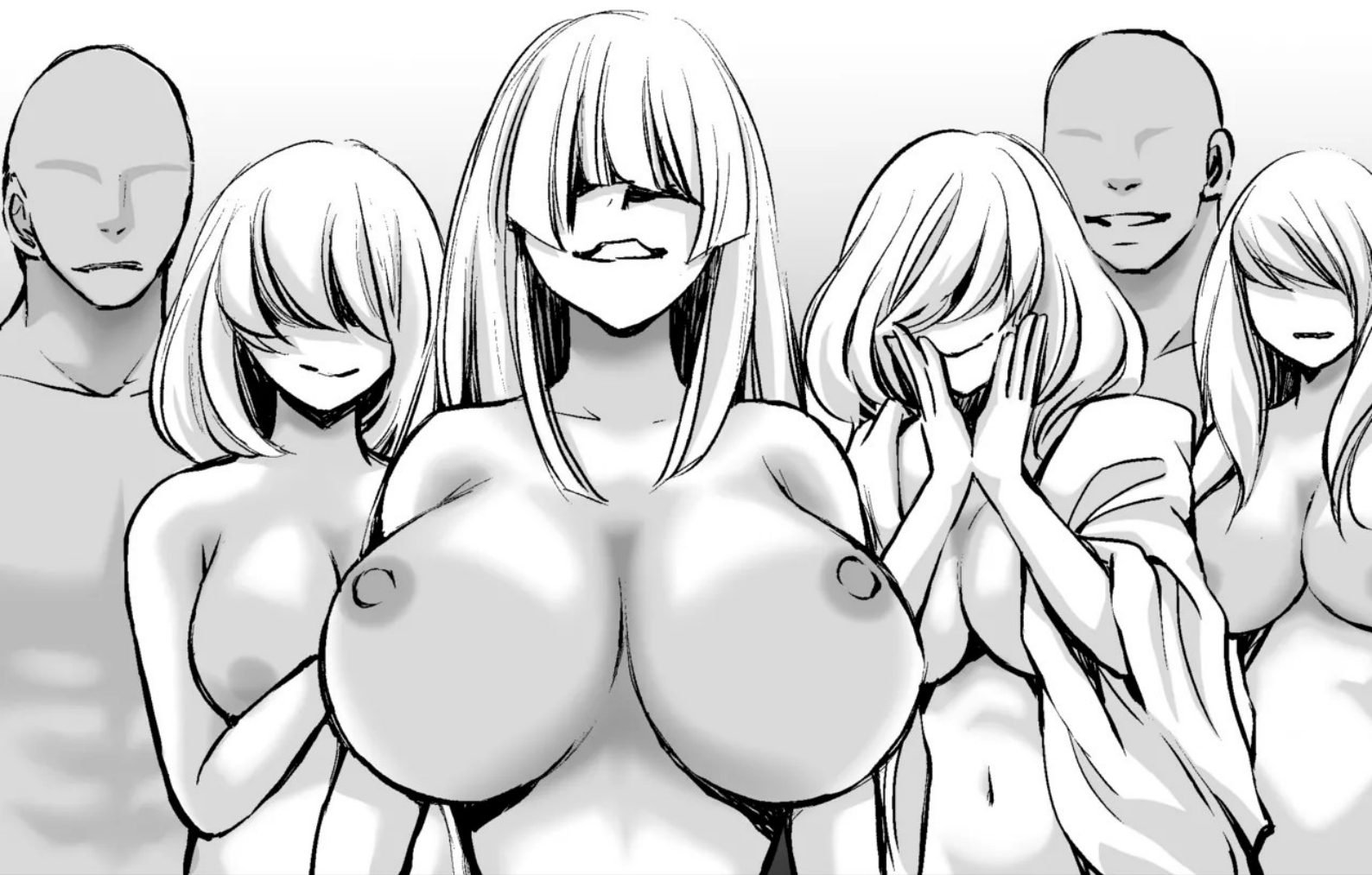
建物も
古いけれど

そんな景色が
いいようには
見えないけど

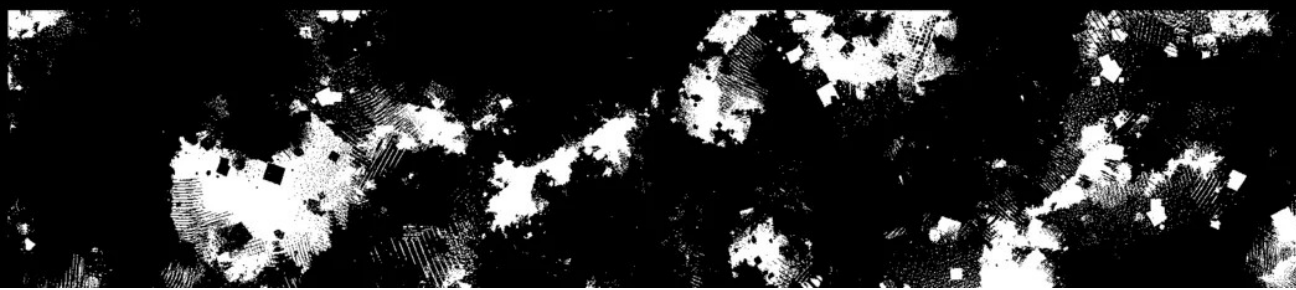


おかえり

おかえり
なさい







そこから後の
記憶は
ブツツリない

気づいたら
病院のベッドだった

聞いた話だと

川沿いを泣き叫んで
歩いてたところを
保護されたらしい

信じてたのに

もう二度と
流されるもんか
て決めたんだ

…でも
これだよ

あー
情けない

自分が
イヤになるね

ははっ









辛い話なのに
共有してくれて
ありがとね

それより
こっちこそ



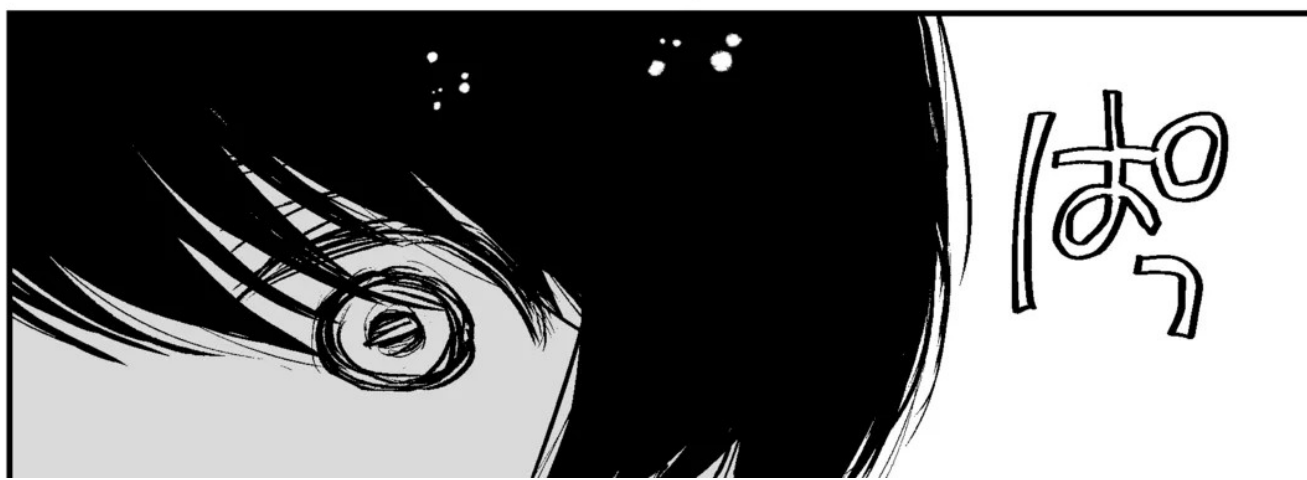
べべべつに
ととーぜんよ

くるくる君は
悪くないし
べつつにい



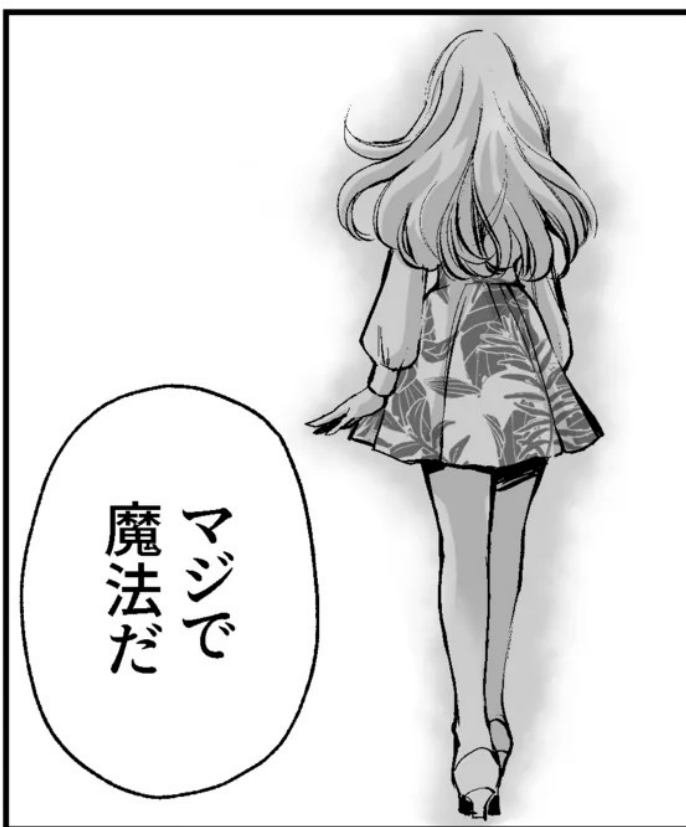
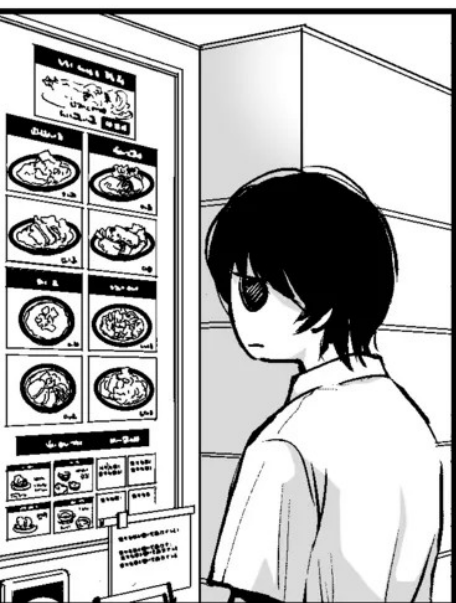
んじゃ
そろそろ
戻ろっか☆

えー☆

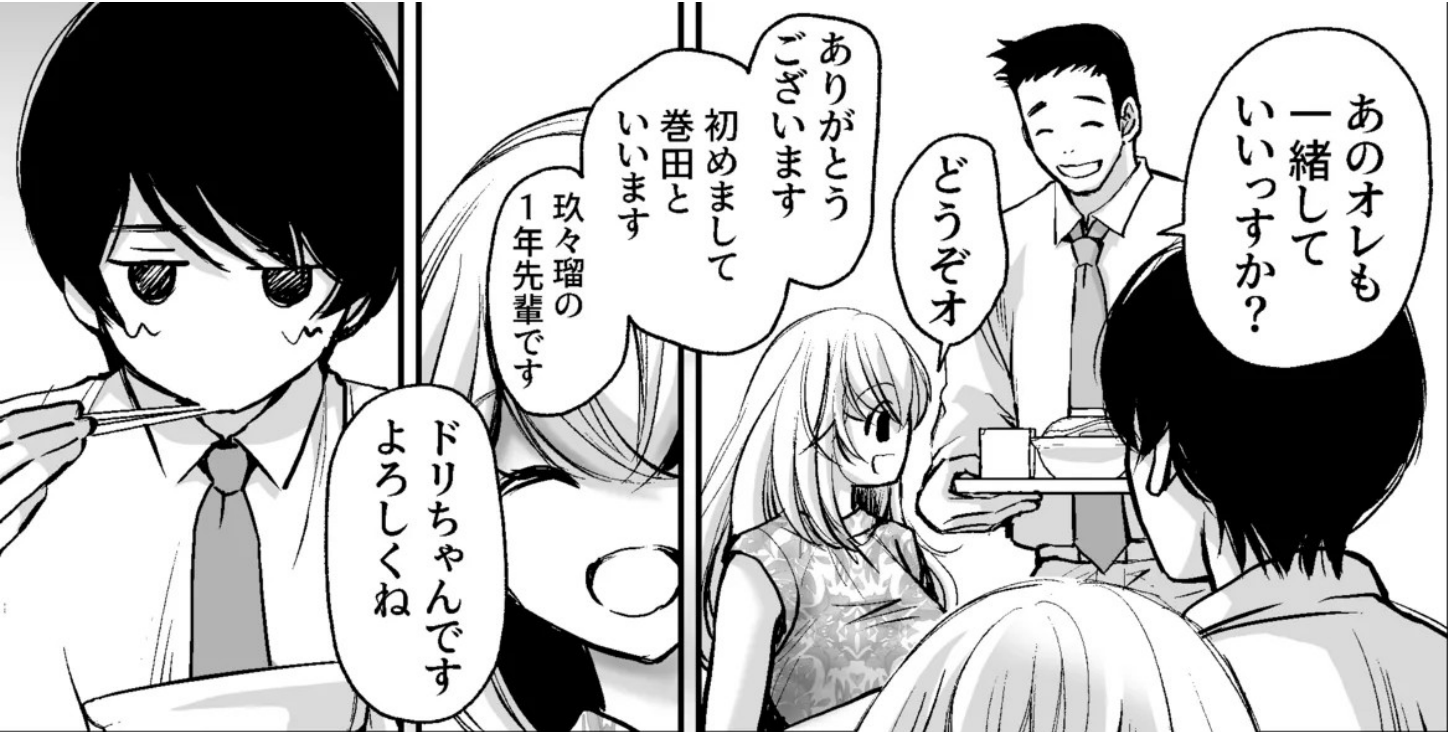


はっ













他にいい男が
みつかつて精液を
もらってるのだろう

よかった
よかった



お・おいっ

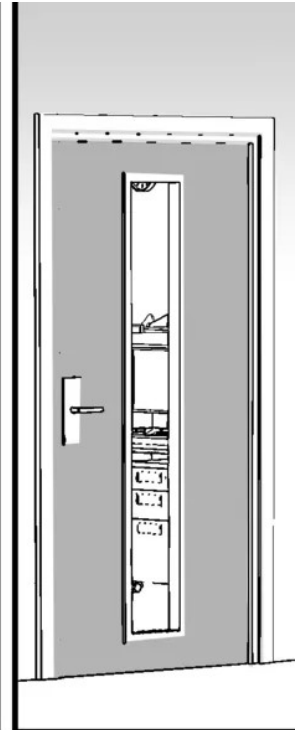
大丈夫か？

ドリちゃん

うーん

しっかり

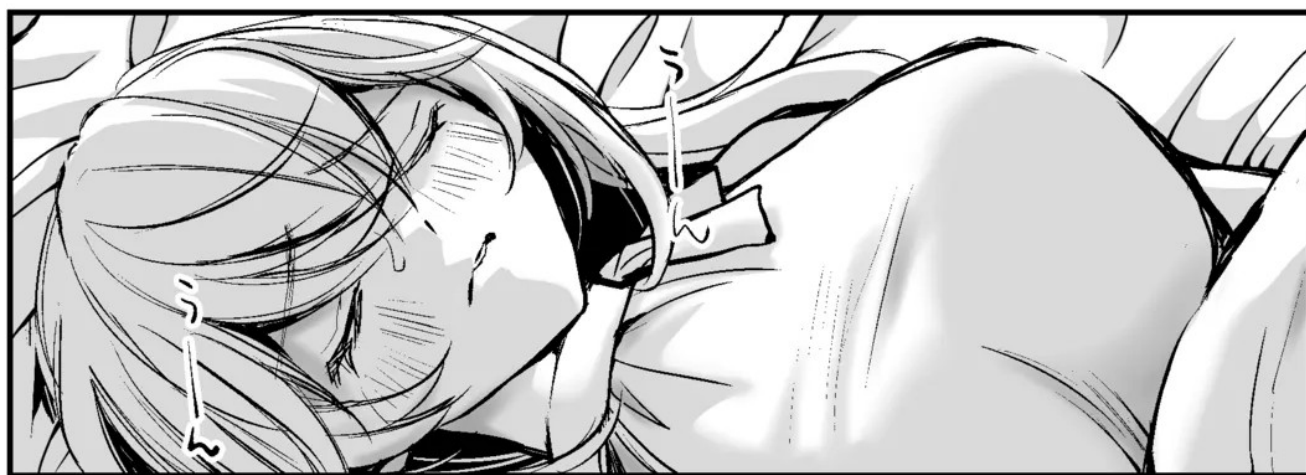




病院連れてって
いいのか
わからないし

休養室に
連れてきたけど
大丈夫かな

辛そう



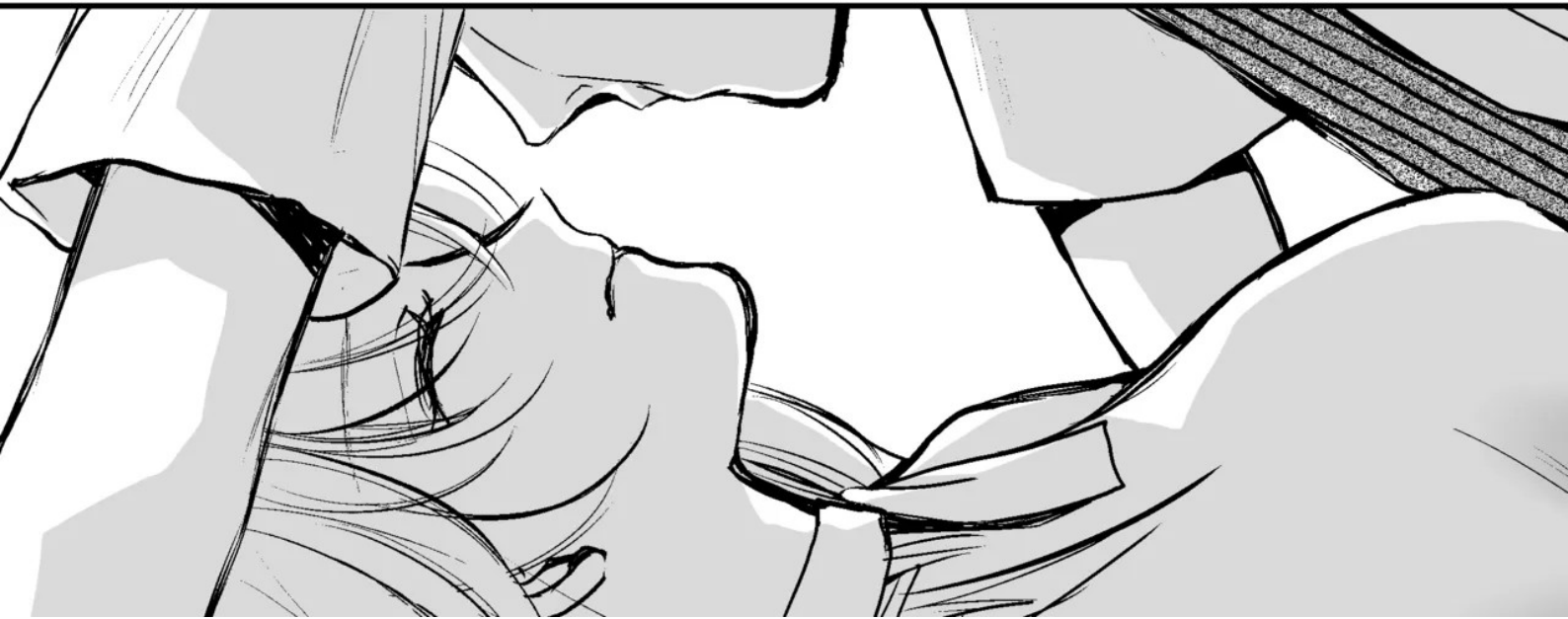
…いや
でも—
この前と
似てるだけで
ちがうかも
うーん…

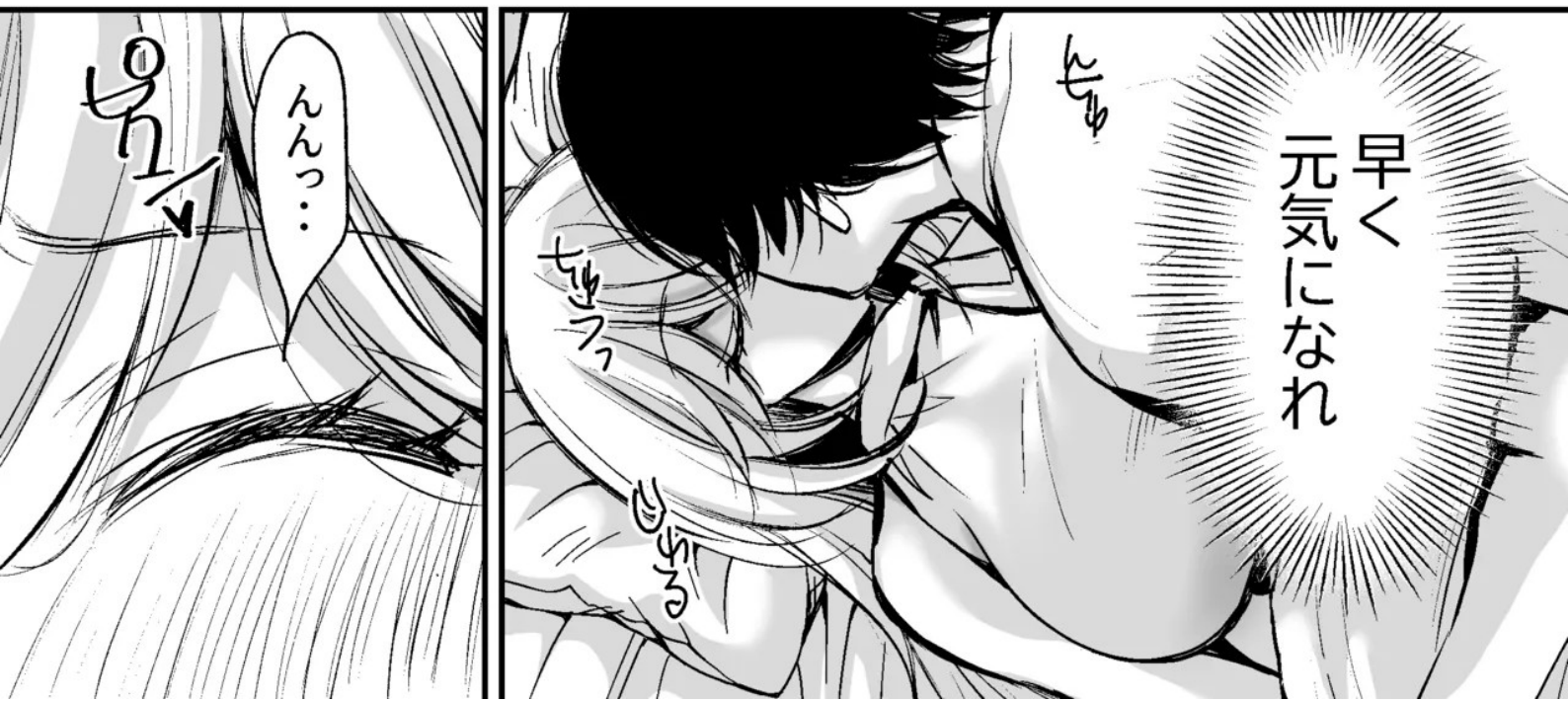


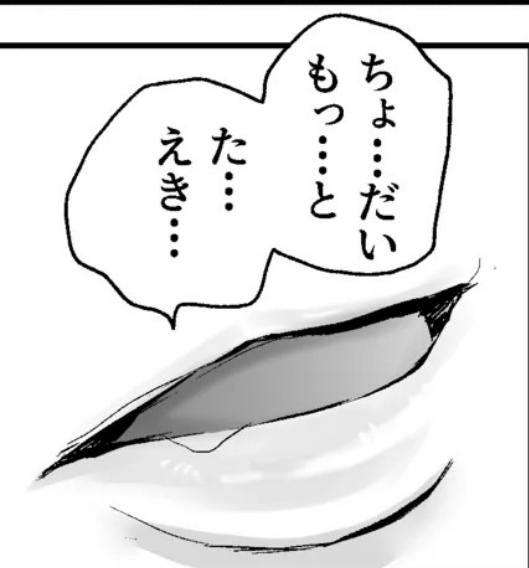
精液不足？



あ
これ
まさか







うん
元気♡♡

マジたすかった
ありがとね♡

この世界で
300年生きてるし

ちゃんと
体調管理
しろよ

心配かけて
ごめんね

そんなんで
今までよく
無事だったな

まあ
なんとか
なってたよ

こうみえても

300
?

300年前の
有様だっ?
Hm...



しかも



300年前の
記憶が
ないんだ

気づいたら
「ここにいた」のよ



なに
やらかしたん
だろうね
あたしってば

ははは



それでも
通りすがりの
親切な人たちに

たすけられて
生きてきたよ



まさか
異世界？

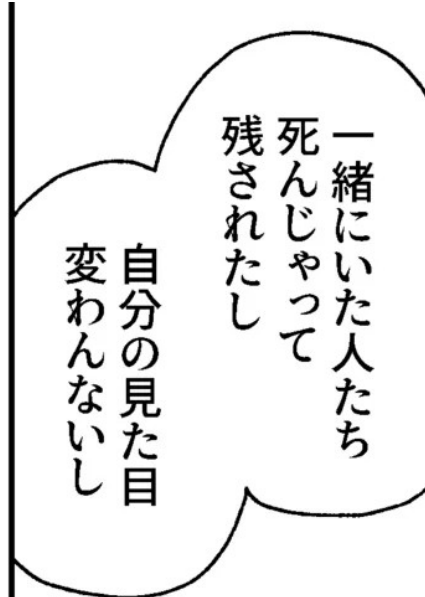


んな
ばかな



この世界の
ニンゲンじゃ
ないのかも

ほーん



一緒にいた人たち
死んじゃって
残されたし

自分の見た目
変わんないし



たぶん
あたしって



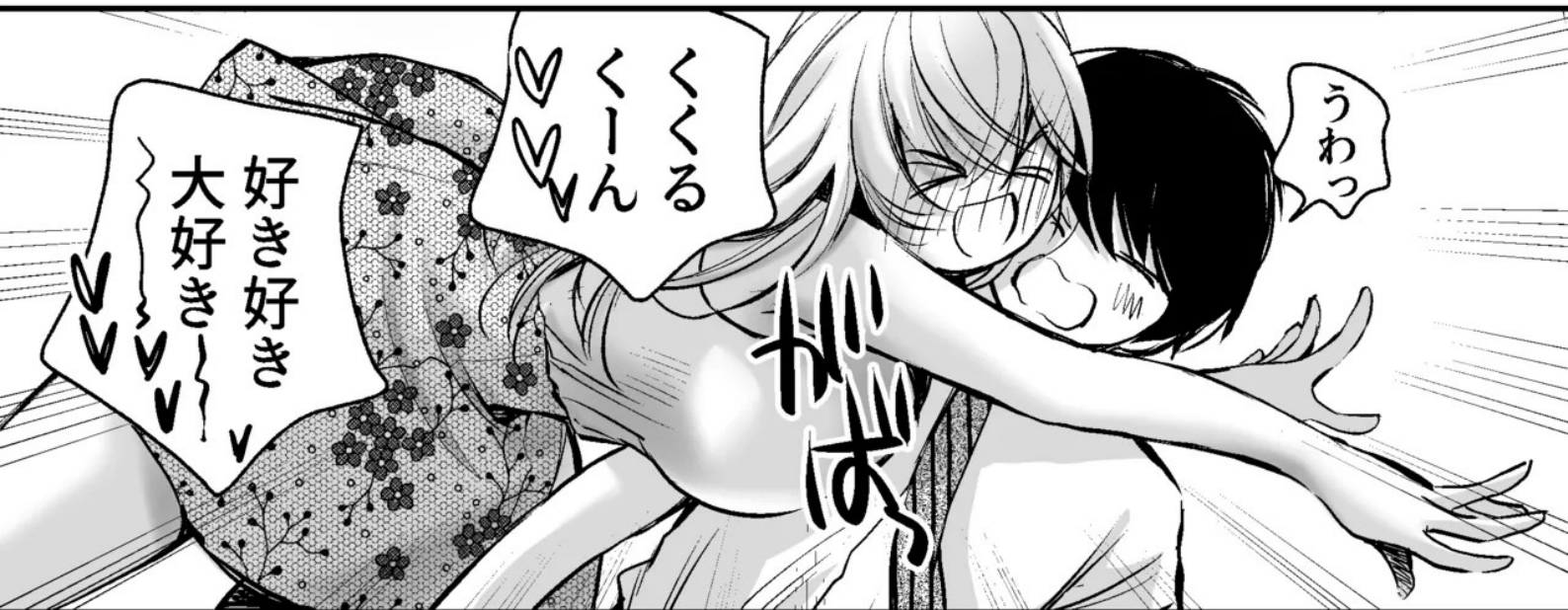
お互いを
わかりあいたいし



ねえねえ
うちらさ

友だちから
はじめようよ

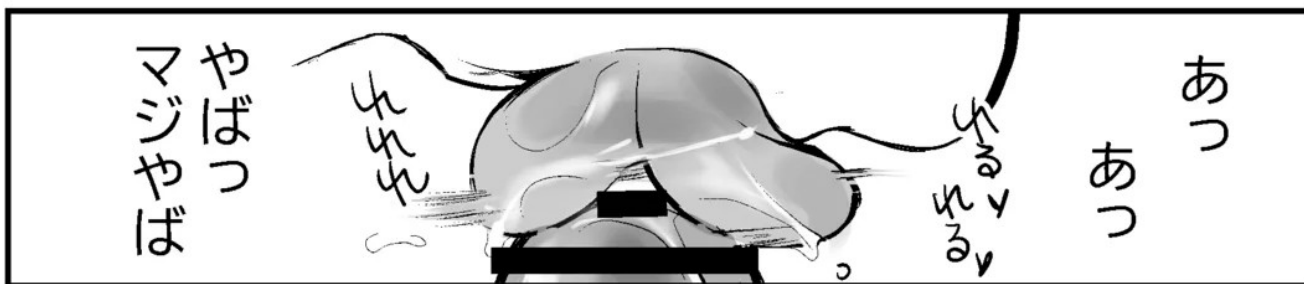


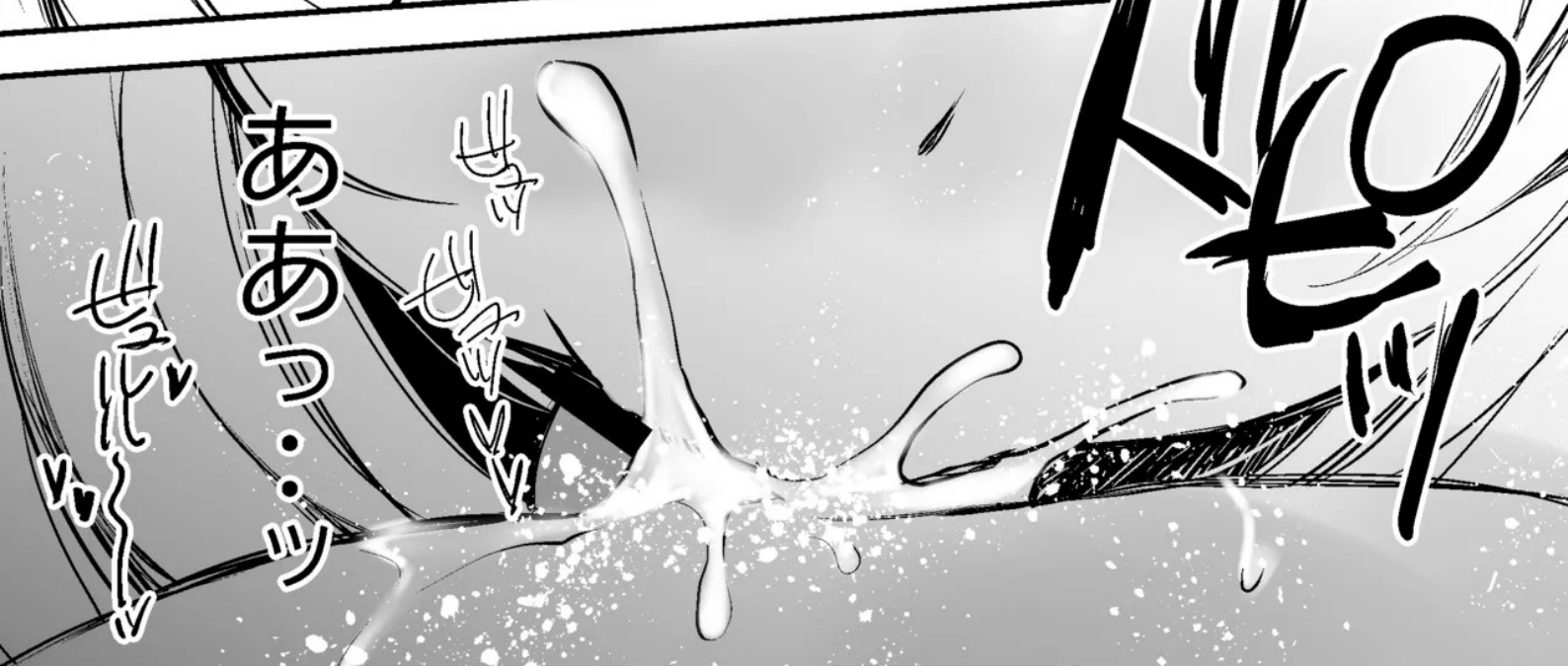
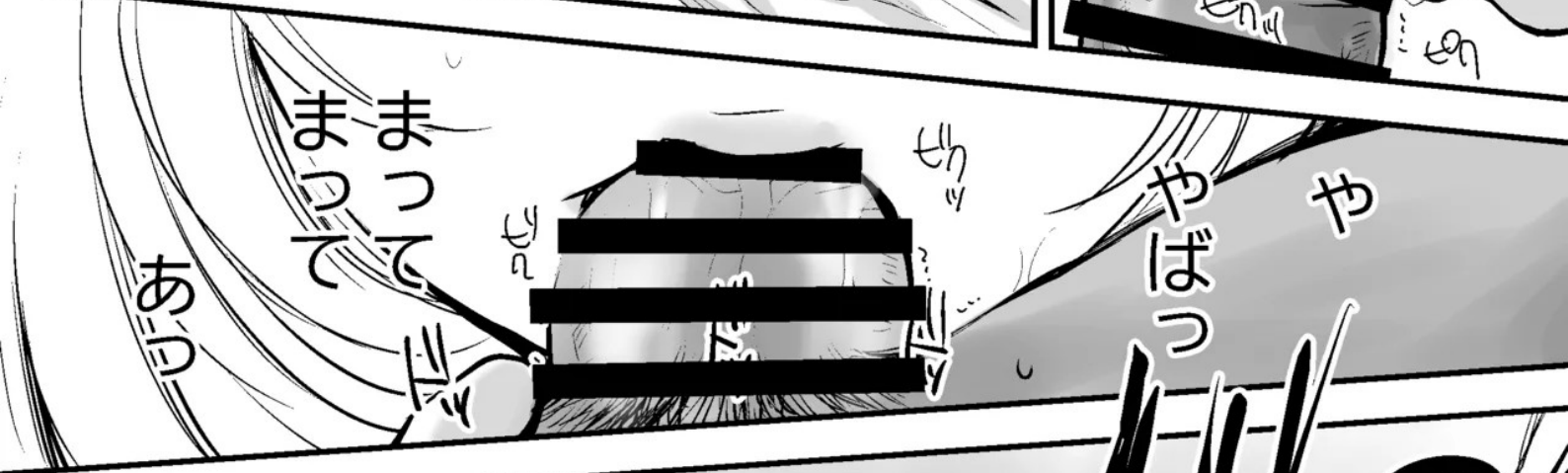


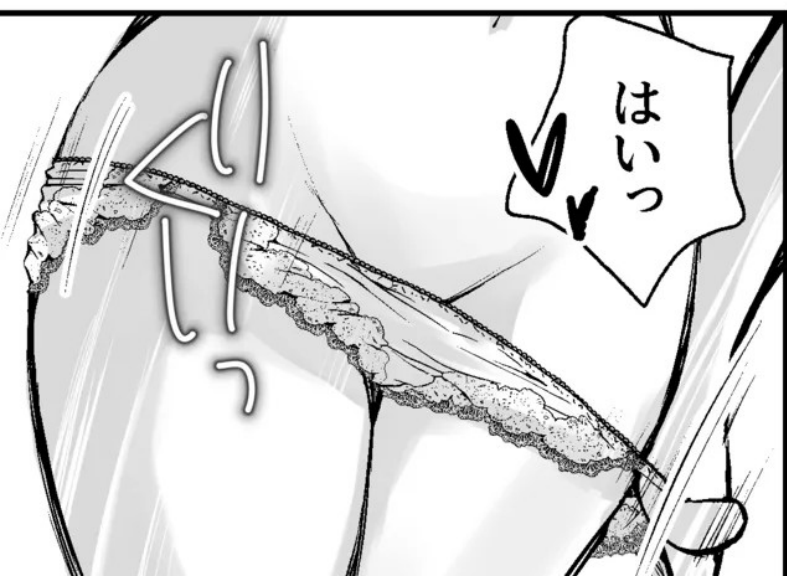












やば・っ

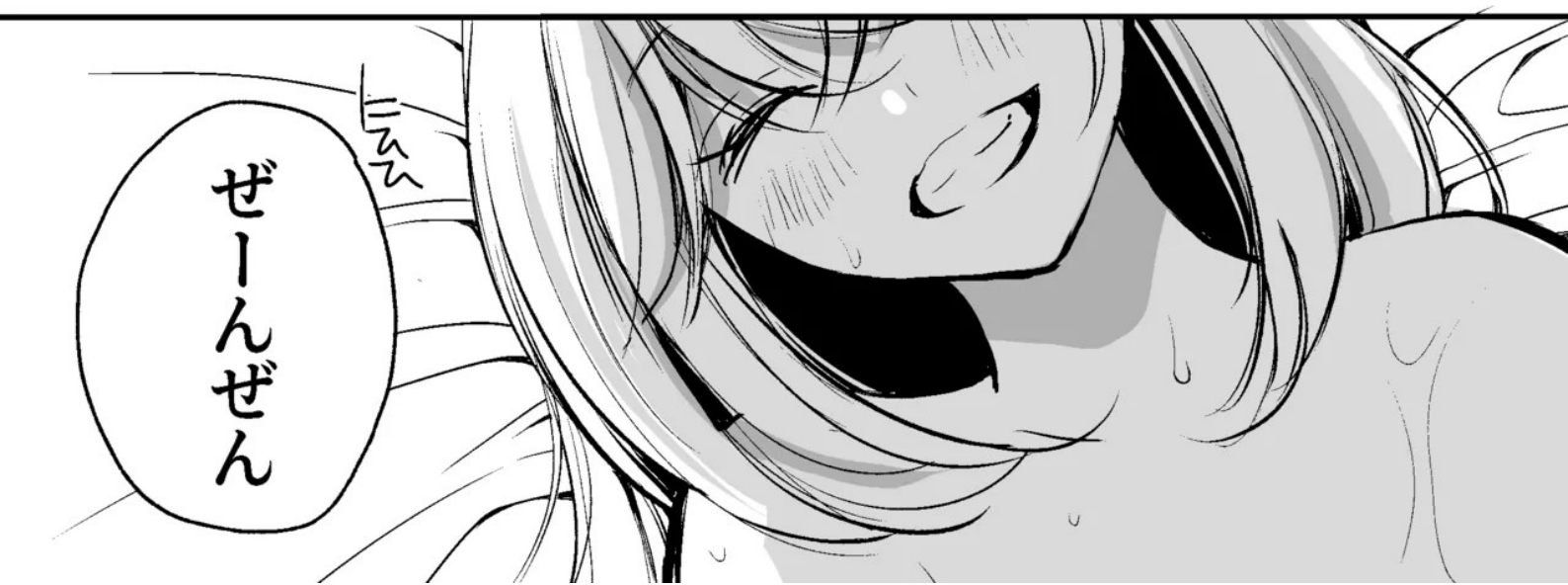
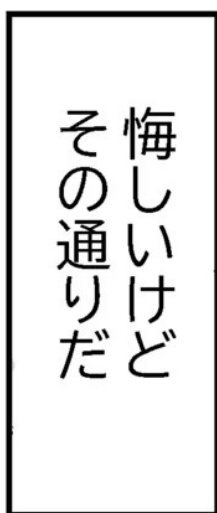
なんこれ





玖々瑠くん





めっちゃ
気持ちいいよ
子宮がやば♡

トロトロに
溶けちゃう
すごーい♡♡♡

はあ♡

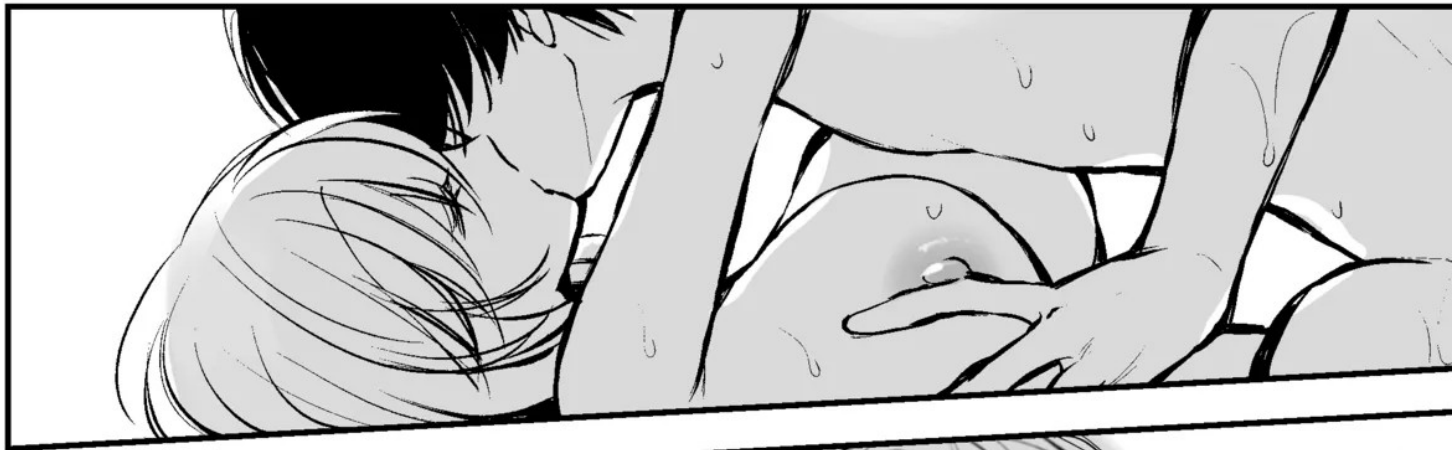
はあ♡

♡♡♡

は









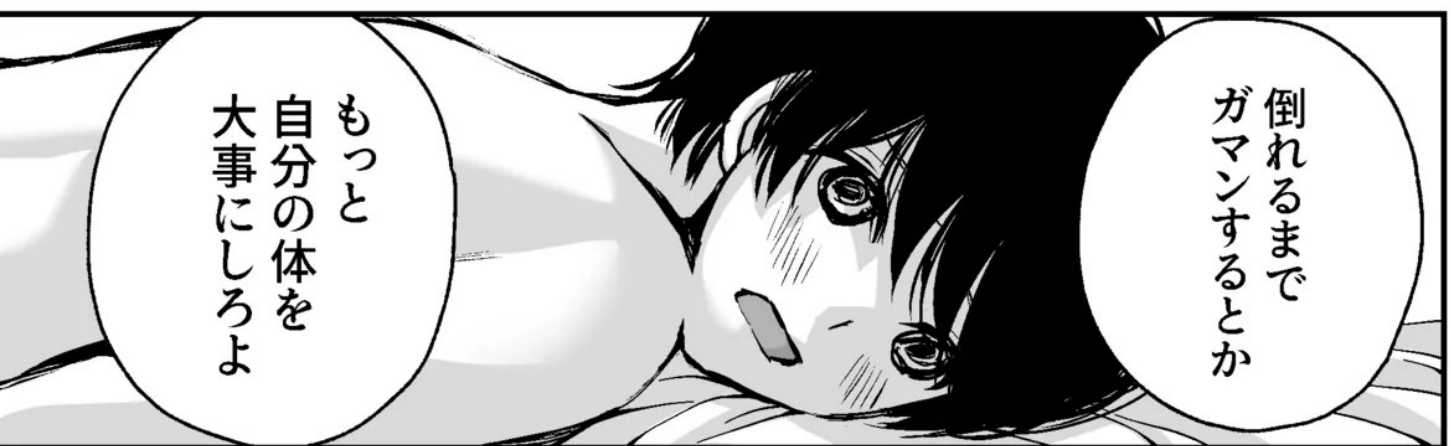




くくる君から
キスしてくれたの
めっちゃ
嬉しかったあ

べべつにッ
人命救助
だからッ

うんうん
ありがとね



倒れるまで
ガマンするとか

もっと
自分の体を
大事にしろよ



いやー
だつてさ

くくる君の
あんな過去
聞いたら
セーエキ
ちようだいって
言いにくくて

ちよっち
ガマン
しすぎたね
あはは







こんにちは川本貴裕です
読んでいただきありがとうございます

今回、グレスケとか性器を初めて描きました
二値化とは違うグレスケ画面におおーっとなったり
そして性器
仕事では白く消されるからちゃんと描いてこなかったのですが
同人ではある程度の描写がOKらしくがんばりました
でもこれ大丈夫？と今でもドキドキしています

好きなように描いたらどんどんページが増えまして
この話、続きます
次回も読んでいただけたらすっごく嬉しいです

発行日 2024/02/22
発行者 川本貴裕
連絡先 kwmttkhr15@gmail.com

本書の無断転載・無断転用・配布等を禁止します

